

社会資本総合整備計画
事後評価に係る参考資料

平成29年3月
八千代市上下水道局

【資料一覧】

- 資料1 社会資本整備総合交付金制度の概要
(国土交通省ホームページより)
- 資料2 社会資本総合整備計画「八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進」
- 資料3 計画の定量的指標の根拠①
(八千代市第4次総合計画 前期基本計画より)
- 資料4 計画の定量的指標の根拠②
(八千代市公共下水道長寿命化計画より)
- 資料5 社会資本総合整備計画「八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進」の事業進捗状況
- 資料6 A1-1-1 村上污水幹線整備の概要
- 資料7 A1-1-2 萱田^{えだせん}污水幹線枝線整備（未普及解消）の概要
- 資料8 A1-1-3 吉橋^{えだせん}污水幹線枝線整備（未普及解消）の概要
- 資料9 A1-1-4 石神^{えだせん}1・2・3号污水幹線枝線整備（未普及解消）の概要
- 資料10 A1-1-5、A1-1-6 管渠^{かんきょ}改築（長寿命化）の概要

資料 1 1 A1-1-7 八千代 1 号幹線枝線整備（浸水対策）の概要

えだせん

- ・ 1 1 - 1 八千代台北地区雨水排水整備事業
- ・ 1 1 - 2 大和田新田地区（県道幕張・八千代線）雨水排水整備事業
- ・ 1 1 - 3 大和田新田地区（八千代市消防本部付近）雨水排水整備事業
- ・ 1 1 - 4 大和田地区（県道大和田停車場線）雨水排水整備事業
- ・ 1 1 - 5 大和田地区（大和田南小学校付近）雨水排水整備事業

資料 1 2 A1-1-8 黒沢 1 号幹線枝線整備（浸水対策）の概要

えだせん

資料 1 3 A1-1-9 須久茂幹線枝線整備（浸水対策）の概要

すくも えだせん

資料 1 4 A1-1-10 石神 1・2・3号雨水幹線枝線整備（浸水対策）の概要

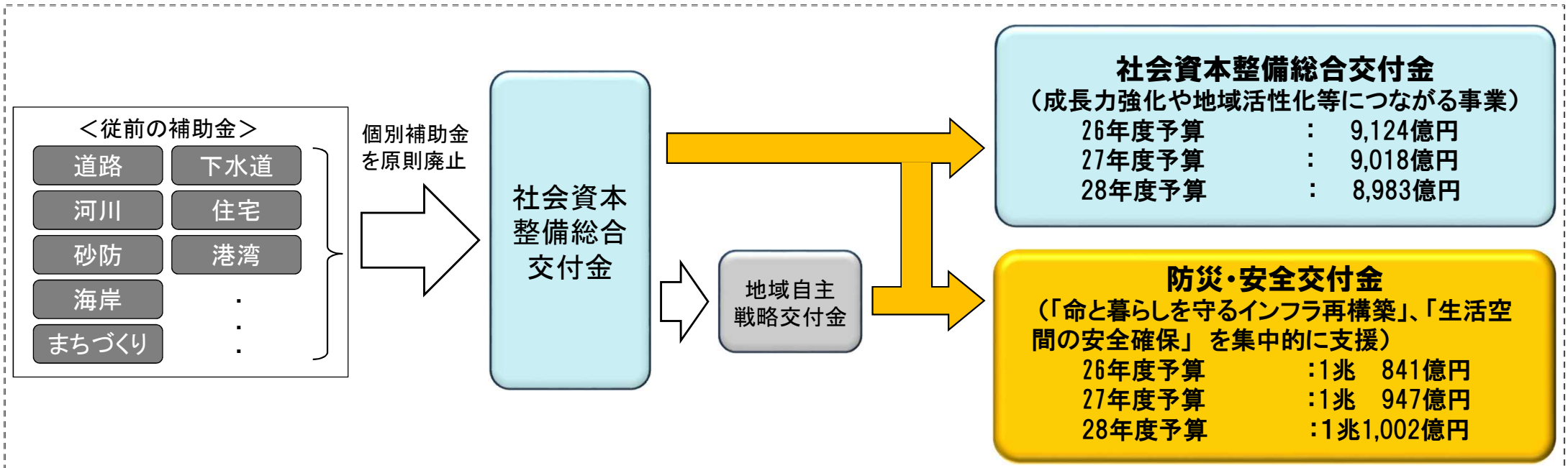
えだせん

資料 1 5 A1-1-11 村上第 2 污水中継ポンプ場改築（改築更新）の概要

資料 1 6 用語集

社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

- ◇ **社会資本整備総合交付金**は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって**自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金**として平成22年度に創設。
- ◇ **防災・安全交付金**は、**地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援**するため、平成24年度補正予算において創設



両交付金の特長(個別補助金との違い)

- ◇ これまで事業別にバラバラで行ってきた関係事務を一本化・統一化
- ◇ 計画に位置付けられた事業の範囲内で、地方公共団体が国費を自由に充当可能
- ◇ 基幹となる社会資本整備事業の効果を一層高める事業についても、創意工夫を生かして実施可能

個別補助金と比較した交付金制度の特長

- ◇ 地域が抱える政策課題を自ら抽出して整備計画で明確化
- ◇ 地域が設定した具体的な政策課題の解決のため、トータルで支援
- ◇ 地方公共団体の自由度を高め、使い勝手を向上

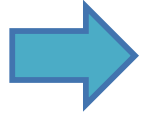
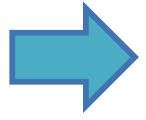
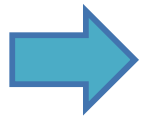
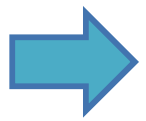
個別補助金

個別施設ごとにタテ割りで補助採択

個々のハード整備にだけ使用

補助金が余れば返還か繰越手続
(他には回せない)

国が詳細に事前審査
個々のアウトプットに着目



交付金制度

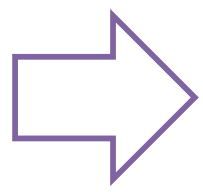
計画全体をパッケージで採択

基幹のハード事業と一体的に行う他種の事業を自由に選択可
(関連社会資本整備事業)
メニューが限定されない、地方の創意工夫を活かした事業も可
(効果促進事業: 基幹事業の効果を促進する事業)

計画内の他事業に国費の流用可
(予算補助事業は)年度間でも国費率の調整可
⇒ 返還・繰越の手続不要。順調な事業の進捗も可能。

地方自らが目標を設定し、事後評価・公表
計画全体としてのアウトカムに着目

社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金の対象事業



整備計画に掲げる
政策目標の達成
(成果指標で事後評価)

住宅・社会資本の整備

- ### 基幹事業(社会資本整備総合交付金)
- 道路
 - 港湾
 - 河川
 - 砂防
 - 下水道
 - 海岸
 - 広域連携
 - 都市公園
 - 市街地
 - 住宅
 - 住環境整備
 - 等

関連社会資本整備事業

基幹事業に関連する

効果促進事業



- 計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務
 - 全体事業費の2割目途
- (社会資本整備総合交付金の例)
- ・アーケードモールの設置・撤去
 - ・観光案内情報板の整備
 - ・社会実験(レンタサイクル、自転車乗り捨てシステム…)
 - ・計画検討(無電柱化、観光振興…)

基幹事業(防災・安全交付金)

○防災・減災、安全に資する社会資本整備事業


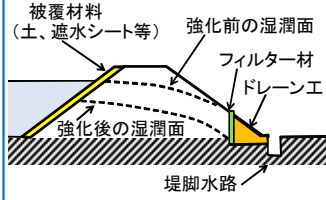
・インフラ老朽化対策

例) 橋梁・トンネルの補修


・事前防災・減災対策

例) 河川堤防の緊急対策





・生活空間の安全確保

例) 通学路の交通安全対策



例) 電線類地中化




- 各種「社会資本整備事業」(社会資本整備重点計画法)
- 「公的賃貸住宅の整備」


(防災・安全交付金の例)

- ・ハザードマップの作成・活用
- ・防災教育、水防訓練、防災訓練、避難訓練の実施
- ・防犯灯、防犯カメラの整備
- 等

例) ハザードマップ作成・活用



例) 水防訓練の実施



社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成23年 月 日

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進			
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	八千代市	
計画の目標				

下水道整備を推進し安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

社会資本総合整備計画において定めた事業を実施することにより、達成しようとした数値目標です。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・汚水管渠整備による下水道処理人口普及率を92%から93%に増加させる。
- ・雨水管渠整備による都市浸水対策の達成率を37%(H23)から43%(H27)に増加させる。
- ・管渠（箇所）における長寿命化達成率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人） 総人口固定：住民基本台帳人口 188,381人（平成22年4月1日現在）
下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）
管渠における下水道長寿命化達成率 長寿命化達成済みの管渠（箇所）／長寿命化を達成すべき管渠（箇所）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)
92%	92%	93%
37%	40%	43%
0%	0%	100%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,040 百万円	A	4,040 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-----	---	-----	---------------------------	------

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	新設	村上汚水幹線整備	管渠整備 L=935m	八千代市						528	
A1-1-2	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	新設	萱田汚水幹線枝線整備（未普及解消）	管渠整備 L=277m	八千代市						21	
A1-1-3	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	新設	吉橋汚水幹線枝線整備（未普及解消）	管渠整備 L=966m	八千代市						131	
A1-1-4	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	新設	石神1・2・3号汚水幹線枝線整備（未普及解消）	管渠整備 L=15,087m	八千代市						607	
A1-1-5	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水		管渠改築（長寿命化）	長寿命化調査・計画策定	八千代市						14	長寿命化支援制度
A1-1-6	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	改築	管渠改築（長寿命化）	管渠更生等	八千代市						42	長寿命化支援制度
A1-1-7	下水道	一般	八千代市	直接	-	雨水	新設	八千代1号幹線枝線整備（浸水対策）	管渠整備 L=1,265m	八千代市						556	
A1-1-8	下水道	一般	八千代市	直接	-	雨水	新設	黒沢1号幹線枝線整備（浸水対策）	管渠整備 L=177m	八千代市						103	
A1-1-9	下水道	一般	八千代市	直接	-	雨水	新設	須久茂幹線枝線整備（浸水対策）	管渠整備 L=560m	八千代市						116	
A1-1-10	下水道	一般	八千代市	直接	-	雨水	新設	石神1・2・3号雨水幹線枝線整備（浸水対策）	管渠整備 L=3,903m	八千代市						1,072	
A1-1-11	下水道	一般	八千代市	直接	-	汚水	改築	村上第2汚水中継ポンプ場改築（改築更新）	処理能力 0.2m3/s	八千代市						850	
											小計（下水道事業）					4,040	

各地区毎に事業名や事業内容、期間等を定めています。
例えば、最上段の「村上汚水幹線整備」では、平成23年度から24年度にかけて、528百万円の事業費で延長935mの汚水管を整備するという計画になっています。

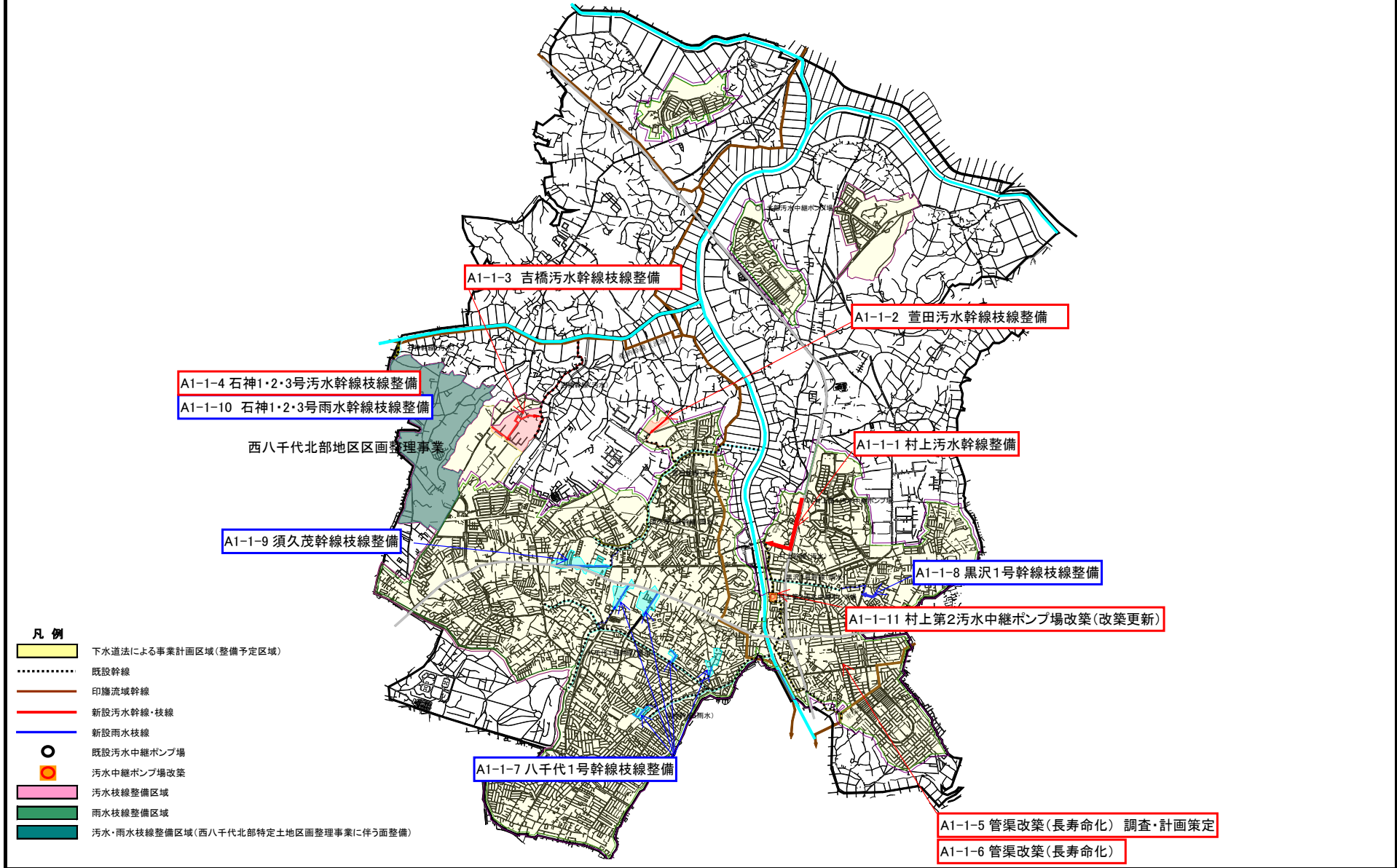
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
															合計	☆☆		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	千葉県八千代市



計画の定量的指標の根拠

(八千代市第4次総合計画 前期基本計画(H23)より)

■施策及び施策内容

(1)下水道の運営基盤の向上

施策内容	
①下水道事業の健全経営	○長期的な視点に立ち、料金体系の見直しおよび経費の削減、事務事業の合理化に努め効率的な財政運営を推進します。
②長寿命化計画の推進	○効率的な改築更新計画を策定し、各施設の適正な維持管理を行ない施設の延命化を図ります。

◆指標

区分	現況値	目標値(平成27年度末)
下水道普及率	92.3%	93.4%

H23(当初) 下水道を利用できる人口 177,649人 / 総人口 192,570人 = 92.3%

- ↓
- 以下4箇所の処理分区において污水管を整備
- ・江東処理分区(A1-1-1 村上污水幹線整備)
 - ・萱田処理分区(A1-1-2 萱田污水幹線枝線整備)
 - ・吉橋処理分区(A1-1-3 吉橋污水幹線枝線整備)
 - ・石神処理分区(A1-1-4 石神1・2・3号污水幹線枝線整備)

H27(目標) 下水道を利用できる人口 190,910人 / 総人口 204,400人 = 93.4%

H27(実績) 下水道を利用できる人口 179,509人 / 総人口 195,371人 = 91.9%

◆指標

区分	現況値	目標値(平成27年度末)
水洗化率	98.1%	98.2%

(3) 雨水排水の整備

施策内容	
①雨水施設の整備拡充	○都市化の進展に伴う雨水排水、また、局地的豪雨に対する雨水排水を効率的・効果的に排水する主要な幹線および調整池の整備を進めます。
②流出抑制策の推進	○都市型水害対策として、貯留施設、浸透施設などの検討および指導の強化を図ります。

◆指標

区分	現況値	目標値（平成27年度末）
雨水管整備率	37.4 %	43.2 %

H23(当初) 浸水対策完了済み面積 1040.24ha / 浸水対策を実施すべき面積 2780.0ha = 37.4%

以下6箇所の排水区において雨水管を整備



- ・八千代排水区(A1-1-7 八千代1号幹線枝線整備)
- ・黒沢排水区(A1-1-8 黒沢1号幹線枝線整備)
- ・須久茂排水区(A1-1-9 須久茂幹線枝線整備)
- ・石神第1・第2・第3排水区(A1-1-10 石神1・2・3号雨水幹線枝線整備)

H27(目標) 浸水対策完了済み面積 1200.34ha / 浸水対策を実施すべき面積 2780.0ha = 43.2%

H27(実績) 浸水対策完了済み面積 1176.71ha / 浸水対策を完了すべき面積 2780.0ha = 42.3%

■主な事業

長寿命化対策事業 / 汚水管渠整備事業 / 西八千代北部地区公共下水道事業(汚水・雨水)
ポンプ場改良事業 / 雨水管渠整備事業

計画の定量的指標の根拠②

(八千代市公共下水道長寿命化計画(勝田台・八千代台地区)(H25)より)

3. 計画期間

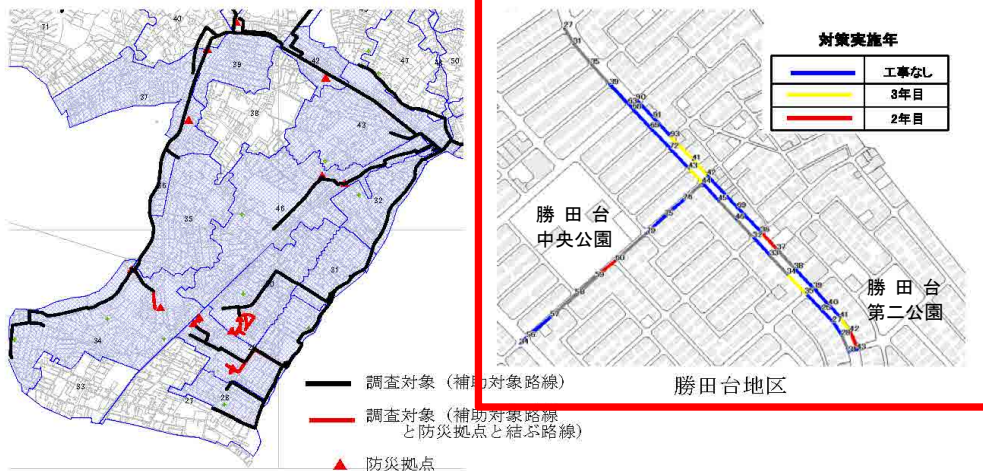
平成25年度～平成29年度(5箇年)

各年の長寿命化対策費を表3.1に、対策実施予定箇所を図3.1に示す。

長寿命化対策の実施にあたっては、布設替を必要とする箇所を優先した。それ以外は、部分補修を実施する箇所との事業費のバランスや工事箇所のまとまりを考慮して決めた(詳細については、4.長寿命化対策を含めた計画的な改築の概要を参照)。

表 3.1 段階的整備計画

年次	地区名	内容	長寿命化対策		備考
			延長(m)	概算事業費(百万円)	
H25	勝田台地区	詳細設計	220	7.7	
H26		布設替	路線2	74	7.8
H27		更生工法	路線2	0	0.0
			路線3	146	10.7
4年目	八千代台地区	テレビカメラ調査	6,162	18.5	
5年目			5,993	18.0	
合計				62.7	
内訳		詳細設計	220	7.7	
		布設替	74	7.8	
		更生工法	146	10.7	
		テレビカメラ調査	12,155	36.5	



八千代台地区

図 3-1 段階的整備計画(勝田台地区・八千代台地区)

H23(当初)長寿命化達成済みの管渠 0箇所(勝田台地区)
 /長寿命化を達成すべき管渠 1箇所(勝田台地区)
 =0%

↓ 勝田台地区において老朽化した管渠の布設替え・更生工事を実施

H27(目標)長寿命化達成済みの管渠 1箇所(勝田台地区)
 /長寿命化を達成すべき管渠 1箇所(勝田台地区)
 =100%

H27(実績)長寿命化達成済みの管渠 1箇所(勝田台地区)
 /長寿命化を達成すべき管渠 1箇所(勝田台地区)
 =100%

社会資本総合整備計画「八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進」の事業進捗状況

資料5

種別	事業番号	定量的指標	区分	要素事業名	事業内容(延長、面積等)		事業実施期間(年度)					事業費(百万円)		参考資料 対象番号
					計画	実績	H23	H24	H25	H26	H27	計画	実績	
汚水	A1-1-1	下水道処理人口普及率	設計委託 工事(新設)	村上汚水幹線整備	管渠整備 L=935m	管渠整備 L=949.70m 事業完了	設計	工事				528.202	195.472	資料6
汚水	A1-1-2	下水道処理人口普及率	工事(新設)	萱田汚水幹線枝線整備 (未普及解消)	管渠整備 L=277m	管渠整備 L=275.40m 事業完了	工事					21.000	20.160	資料7
汚水	A1-1-3	下水道処理人口普及率	設計委託 工事(新設)	吉橋汚水幹線枝線整備 (未普及解消)	管渠整備 L=966m	管渠整備 L=1,063.04m 平成28年度以降も引き続き 整備を実施			設計	工事	工事	130.550	259.522	資料8
汚水	A1-1-4	下水道処理人口普及率	工事(新設)	石神1・2・3号汚水幹線枝線整備 (未普及解消)	管渠整備 L=15,087m	管渠整備 L=7,990.36m 事業完了	工事	工事			工事	607.000	318.080	資料9
汚水	A1-1-5	長寿命化達成率	計画策定 設計委託	管渠改築(長寿命化)	長寿命化調査・計画策定	長寿命化計画策定 実施設計委託 事業完了	計画策定		設計			13.990	12.963	資料10
汚水	A1-1-6	長寿命化達成率	工事(改修)	管渠改築(長寿命化)	管渠更生等	管渠布設替え L=64.10m 管渠更生 L=146.02m 事業完了					布設替え	管更生	42.000	
雨水	A1-1-7	都市浸水対策達成率	工事(新設)	八千代1号幹線枝線整備 (浸水対策)	管渠整備 L=1,265m	管渠整備 L=567.11m 工事予定箇所5箇所のうち、 3箇所の整備を平成28年度 以降に先送りした		工事	工事			555.957	343.350	資料11
雨水	A1-1-8	都市浸水対策達成率	工事(新設)	黒沢1号幹線枝線整備 (浸水対策)	管渠整備 L=177m	管渠整備 L=176.37m 平成28年度以降、上流域を 整備予定	工事					102.900	102.459	資料12
雨水	A1-1-9	都市浸水対策達成率	工事(新設)	須久茂幹線枝線整備(浸水対策)	管渠整備 L=560m	管渠整備 L=560.82m 事業完了	工事					116.130	113.484	資料13
雨水	A1-1-10	都市浸水対策達成率	工事(新設)	石神1・2・3号雨水幹線枝線整備 (浸水対策)	管渠整備 L=3,903m	管渠整備 L=2,246.12m 事業完了	工事	工事	工事	工事	工事	1,072.000	712.890	資料14
汚水	A1-1-11		工事(改修)	村上第2汚水中継ポンプ場改築 (改築更新)	処理能力 0.2m ³ /s	改築更新工事一式 (耐震補強・建築設備工事 機械設備更新工事 電気設備更新工事 施工監理業務委託 ポンプ施設の処理能力を 0.19m ³ /sから0.2m ³ /sに改良 事業完了)	改築更新	改築更新				850.584	684.442	資料15
計											4,040.313	2,777.044		

※事業費実績値は、交付対象事業費のみを計上。

--- 実施期間(計画)

--- 実施期間(実績)

A1-1-1 村上污水幹線整備の概要

1. 事業実施に至った経緯

村上第1污水中継ポンプ場は、昭和51年4月の供用開始から約35年が経過し、下水道本来の機能である「生活環境の改善・公共水域の水質保全」を保ち続けるための効率的な改築更新を実施するため、「①既存構造物の耐震化を進めながら改築更新を実施していく案」、「②污水中継ポンプ場の新築案」、「③村上第2污水中継ポンプ場との統廃合案」の3案の比較検討を行ったところ、「③村上第2污水中継ポンプ場との統廃合案」が最も経済的であるという結果が得られました。

このため、ポンプ場の統廃合に伴い、村上第1污水中継ポンプ場から村上第2污水中継ポンプ場までの一部区間において既設^{あつそう}圧送管を廃止し、新たに自然^{りゅうか}流^{ふせつ}下管を布設しました。

2. 工事・委託概要

(1)^{かんきよ}管渠実施設計（詳細）委託（村上^{かんきよ}幹線管渠築造工事）【平成23年度事業】

①契約金額 4,704,000円

②業務概要 村上第1污水中継ポンプ場及び村上第2污水中継ポンプ場の統

廃合に伴うバイパス^{かんきよ}管渠の実施（詳細）設計

- ・ 推進工法 (刃口、小口径 $\phi 500$) L=360m (一部開削)
- ・ 推進工法 (中大口径 $\phi 800$) L=583m
- ・ 特殊マンホール マンホール平均深 12.5m
- ・ 測量業務 平板測量 A=2.81ha 路線測量 L=943m

(2) 村上幹線管渠築造工事 **【平成 24 年度事業】**

① 契約金額 190,768,000 円

② 工事概要 村上第 1 汚水中継ポンプ場の廃止に伴い新たに自然流下管として汚水管渠を布設する。

管渠布設工 L=949.7m

推進工法 L=906.1m

泥濃方式推進 HP $\phi 800$ mm L=588.5m

泥水方式推進 HP $\phi 500$ mm L=239.1m

泥土圧方式推進 HP $\phi 500$ mm L=78.5m

開削工法 L=43.6m

開削工法 HP $\phi 500$ mm L=17.4m

開削工法 VU $\phi 200$ mm L=26.2m

人孔設置工

組立 1 号人孔 4 箇所

組立2号人孔^{じんこう} 1箇所現場打ち人孔^{じんこう} 2箇所

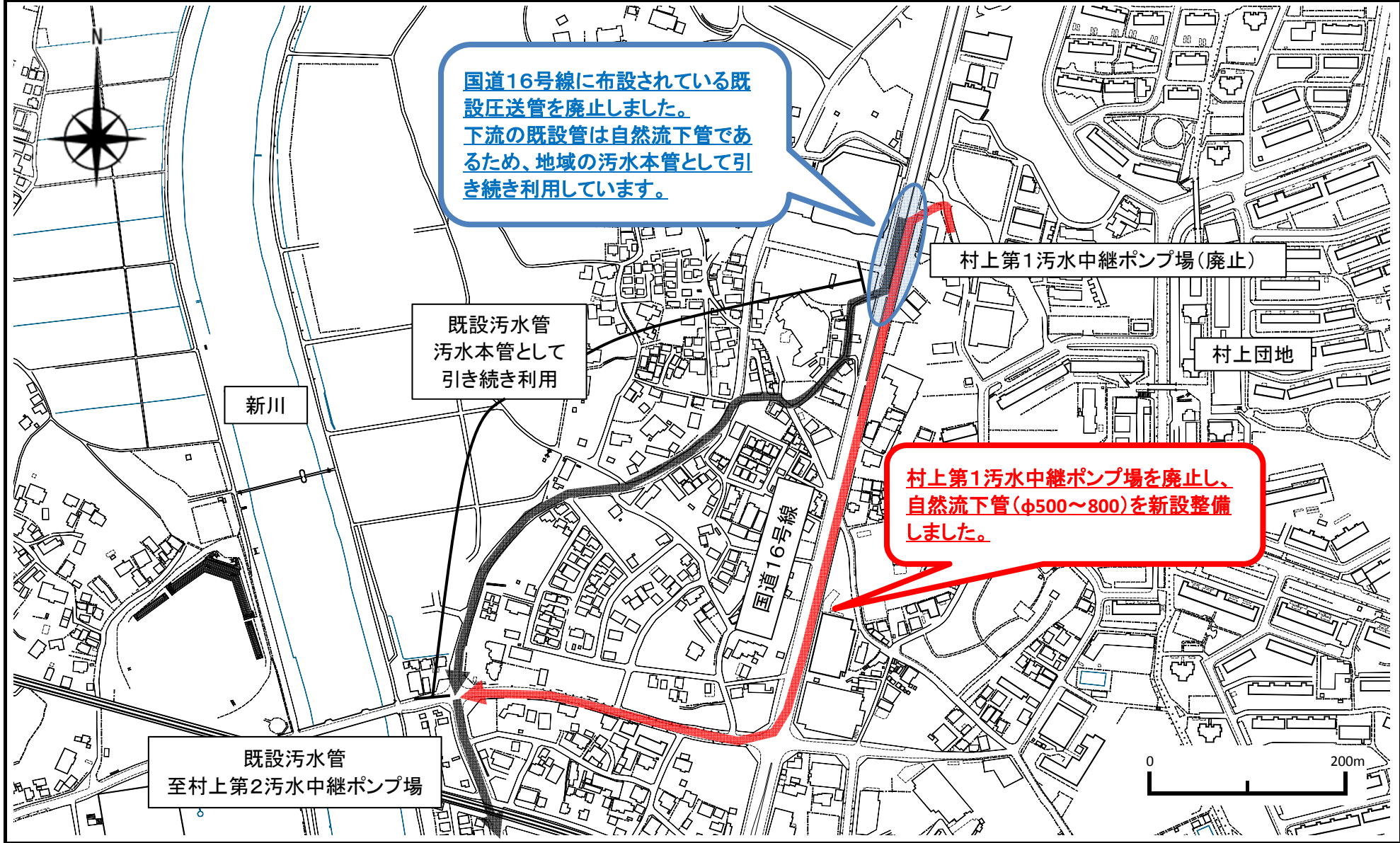
3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長(m)		交付対象事業費(百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	実施設計	実施設計	18.837	4.704
H24	935	949.70	509.365	190.768
H25				
H26				
H27				
合計	935	949.70	528.202	195.472
備考		対計画比 102%		対計画比 37%

※実施設計において管径・工法等を精査したこと及び入札率が低かったことなどにより、計画事業費と比較して実績事業費が大きく減少しています。

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-2 萱田^{えだせん}污水幹線枝線整備（未普及解消）の概要

1. 事業実施に至った経緯

本事業は、八千代市印旛沼流域関連公共下水道事業計画に基づき、下水道の未普及解消を図るための污水管を整備するものです。

本事業において污水管を整備する区域は、平成 7 年度に公共下水道事業認可を取得しており、平成 19 年度より下流側から順次、工事施工した区域の最上流部にあたります。

2. 工事概要

(1)萱田第 8 準幹線^{かんきょ}管渠^{ます}築造工事【平成 23 年度事業】

①契約金額 20,160,000 円

②施工方法 ^{かいさく}開削工法 L=275.4m

硬質塩化ビニル管 φ 200mm

③人孔^{じんこう}設置 1 号組立マンホール 6 箇所

0 号組立マンホール 1 箇所

④污水^{ます}枿^{ます}設置 塩^{ます}ビ枿 8 箇所

^{とりつけ}取付管 φ 150mm 9 箇所 L=48.0m

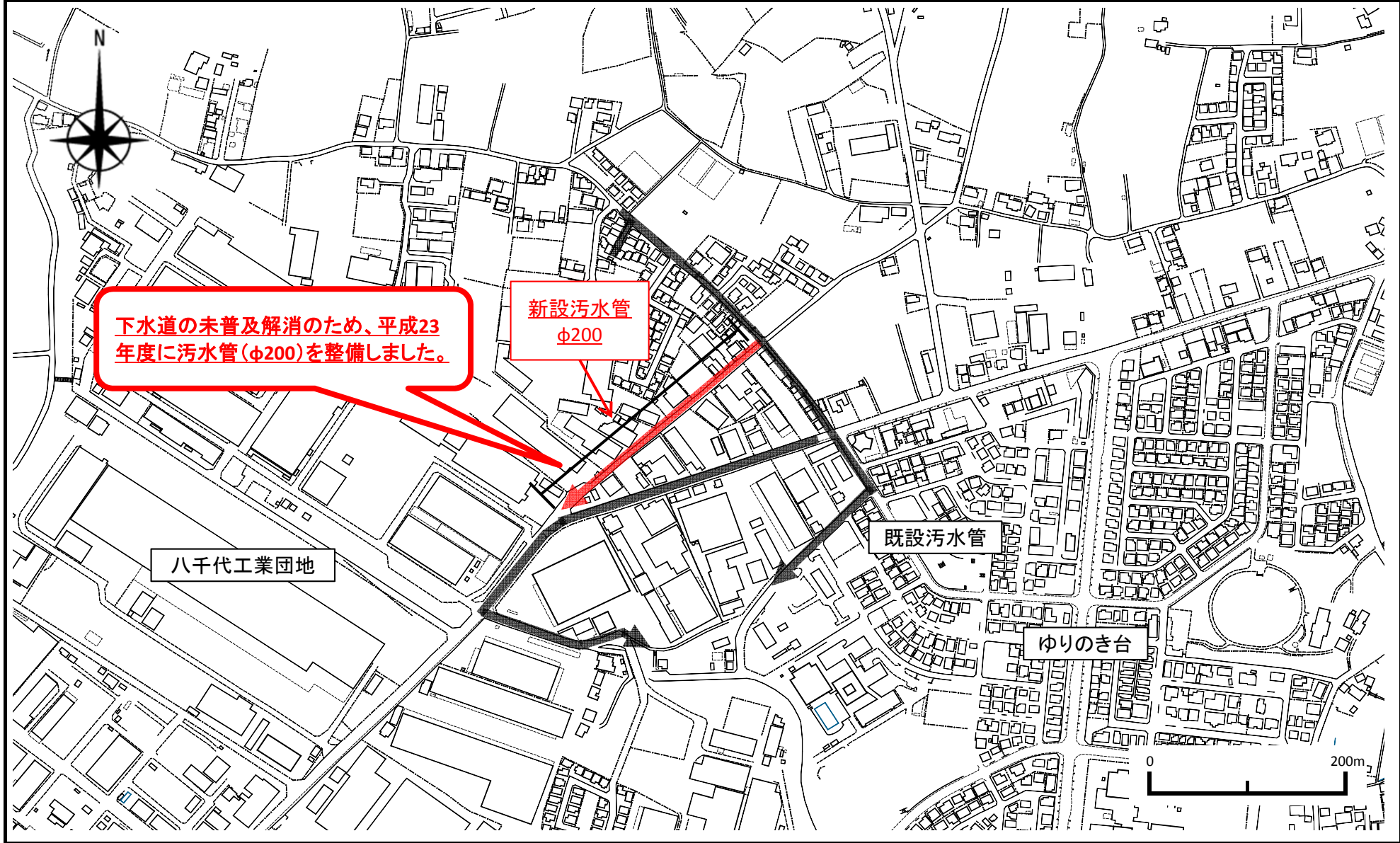
⑤舗装^{ます}仮復旧 A=353 m²

3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	277	275.40	21.000	20.160
H24				
H25				
H26				
H27				
合計	277	275.40	21.000	20.160
備考		対計画比 99%		対計画比 96%

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-3 吉橋汚水幹線枝線整備（未普及解消）の概要

1. 事業実施に至った経緯

本事業は、八千代市印旛沼流域関連公共下水道事業計画に基づき、下水道の未普及解消を図るための汚水管を整備するものです。

八千代市の公共下水道整備（汚水）は昭和 47 年度より事業に着手し、市街化区域においては工業団地（八千代・吉橋・上高野^{かみこうや}）を残し、ほぼ整備が完了しています。

そこで、平成 22 年度に吉橋工業団地を中心とした吉橋処理分区の一部約 91 ヘクタールの事業認可を取得し、汚水管の整備に着手しました。

2. 工事・委託概要

(1)吉橋処理分区実施設計業務委託【平成 25 年度事業】

- ①契約金額 18,585,000 円（うち交付対象事業費 18,584,000 円）
- ②業務概要 八千代市公共下水道事業計画（汚水）における吉橋処理分区の実実施設計業務
- ③管渠^{かんきょ}実施設計業務
 - (1)開削^{かいさく}工法 L=3,646m φ 200mm・250mm
 - 内サービス管以外 L=1,835m
 - サービス管 L=1,811m
 - (2)推進^{すいしん}工法 L=1,811m φ 200mm・250mm
- ④地質・土質調査業務 土質ボーリング…6本 原位置試験…一式
土質試験…一式

⑤測 量 業 務 現地測量…0.0018 km²

(2)吉橋処理分区^{かんきょ}污水管渠築造工事【平成 26 年度事業】

①契約金額 60,264,000 円（うち交付対象事業費 60,174,000 円）

②施工延長 ^{かいさく}開削 L=25.96m

^{すいしん}推進 L=165.13m

合計 L=191.09m

③管種・管径 硬質塩化ビニル管 φ 250mm

④人孔設置 ^{じんこう}組立 1 号人孔 2 基

^{じんこう}組立 2 号人孔 1 基

^{じんこう}沈設人孔 1 基

(3)吉橋処理分区^{かんきょ}污水管渠築造工事【平成 27 年度事業】

①契約金額 179,540,280 円（うち交付対象事業費 177,870,000 円）

②施工方法 ^{ていたいかりよく すいしん}低耐荷力管推進工法（昼間・夜間施工）

^{かいさく}開削工法（昼間・夜間施工）

③路線延長 ^{あつにゆう}圧入方式 L=163.57m

^{でいどあつ}泥土圧方式 L= 91.76m

^{でいすい}泥水方式 L= 285.53m ^{すいしん}推進計 L=540.86m

^{かいさく}開削工法 L=331.09m

合 計 L=871.95m

④管種・管径 すいしん 推進管 VP φ 200・250mm

かいさく 開削管 VU φ 200mm

⑤人孔設置 じんこう 組立 2 号人孔 5 基

じんこう 沈設人孔 4 基

じんこう 組立 1 号人孔 3 基

(4)吉橋処理分区実施設計耐震計算業務委託 (その2) 【平成 27 年度事業】

①契約金額 2,894,400 円 (うち交付対象事業費 2,894,000 円)

②業務概要 平成 25 年度吉橋処理分区実施設計にて「下水道施設の耐震対策指針と解説」平成 18 年版を基に行った耐震計算を、最新の平成 26 年版にて再度実施する。

③開 かい さく 削 L=2,377m φ 200mm

内 L=2,060m レベル 1 L=317m レベル 1、2

④推 すい しん 進 L=1,056m φ 200mm レベル 1、2

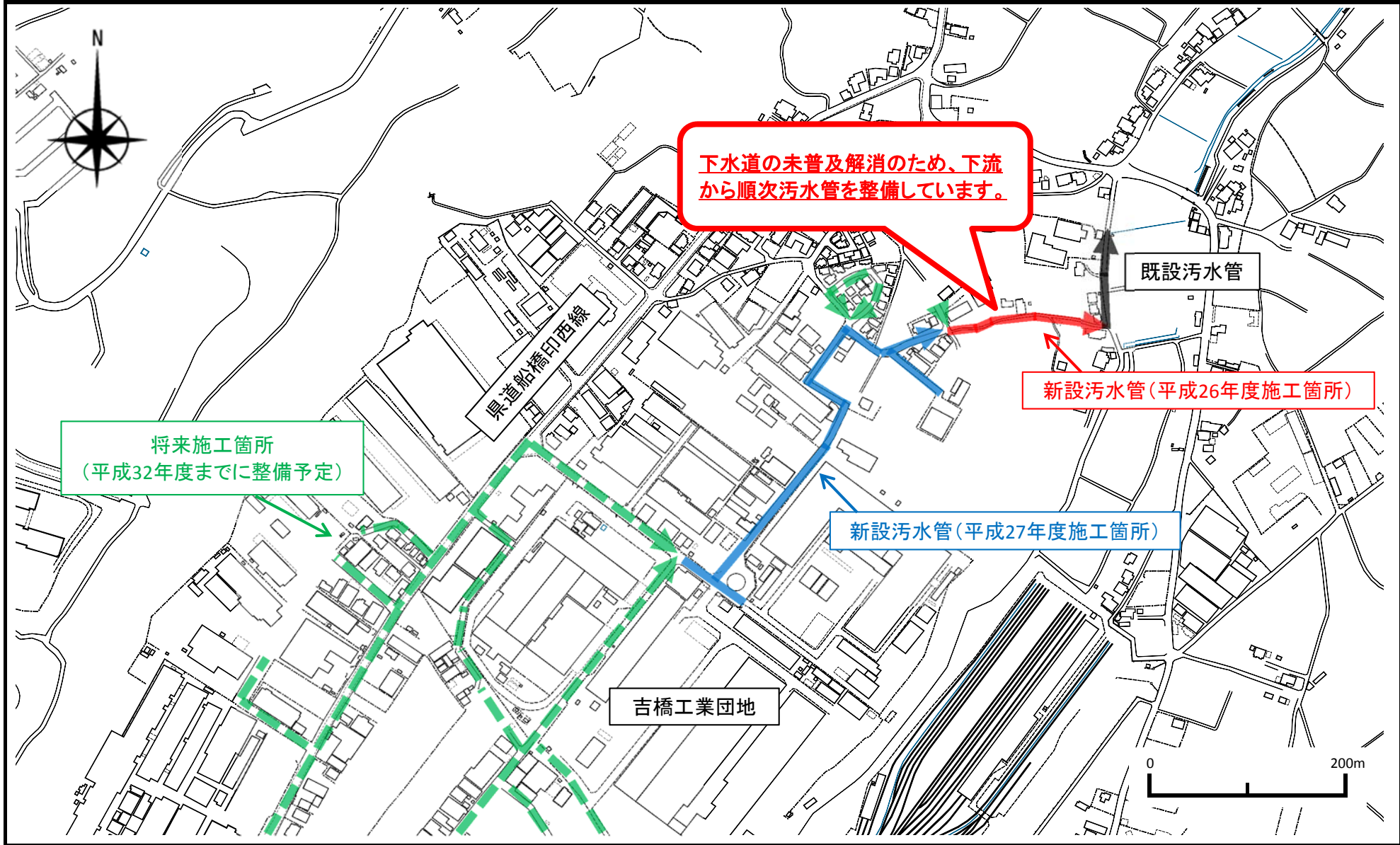
3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25	276	実施設計	41.100	18.584
H26	365	191.09	54.450	60.174
H27	325	871.95 耐震計算	35.000	180.764
合計	966	1,063.04	130.550	259.522
備考		対計画比 110%		対計画比 199%

※実施設計において工法等を精査した結果、開削工法による施工を予定していた一部区間において、単価の高い推進工法による施工が必要となったため、計画事業費と比較して実績事業費が大きく増加しています。

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-4 石神 1・2・3号^{えだせん}汚水幹線枝線整備（未普及解消）の

概要

1. 事業実施に至った経緯

独立行政法人 都市再生機構による「西八千代北部特定土地区画整理事業」の実施を受け、平成 17 年度に公共下水道事業計画区域（汚水・雨水）140.5 ヘクタールの拡大を行いました。

その後、平成 20 年度より、区画整理事業の実施主体である独立行政法人 都市再生機構に委託し、当該区域の下水道整備を実施することとなりました。

2. 工事概要

(1)西八千代北部地区NE工区^{ほか}外排水工事(汚水整備事業分)【平成 23 年度事業】

契約金額 126,520,000 円

管延長 ^{すいしん}推進VU φ 200mm L=132.40m

^{すいしん}推進VU φ 250mm L= 27.48m

^{かいさく}開削VU φ 200mm L=5,165.10m

^{かいさく}開削VU φ 250mm L=65.73m

合計 L=5,390.71m

^{じん}人 ^{こう}孔 小型塩ビ 13 基

小型レジン 37 基

組立 1 号 77 基

組立 2 号 6 基

(2)西八千代北部地区NW工区^{ほか}外排水（その 2）工事（污水整備事業分）【平成 24 年度事業】

契約金額 49,000,000 円

管 延 長 ^{かいさく}開削VU φ 200mm L=2,074.09m^{すいしん}推進HP φ 400mm L=71.56m

合 計 L=2,145.65m

^{じん}人 ^{こう}孔 小型塩ビ 6 基

小型レジン 19 基

組立 1 号 36 基

組立 2 号 1 基

(3)西八千代北部地区西部線南側外排水（その 2）工事 【平成 26 年度事業】

契約金額 142,560,000 円

管 延 長 ^{すいしん}推進VP φ 250mm L=17.45m^{すいしん}推進VP φ 350mm L=313.70m^{すいしん}推進RS φ 300mm L=122.85m

合 計 L=454.00m

^{じん}人 ^{こう}孔 組立 1 号 1 基

組立 2 号 9 基

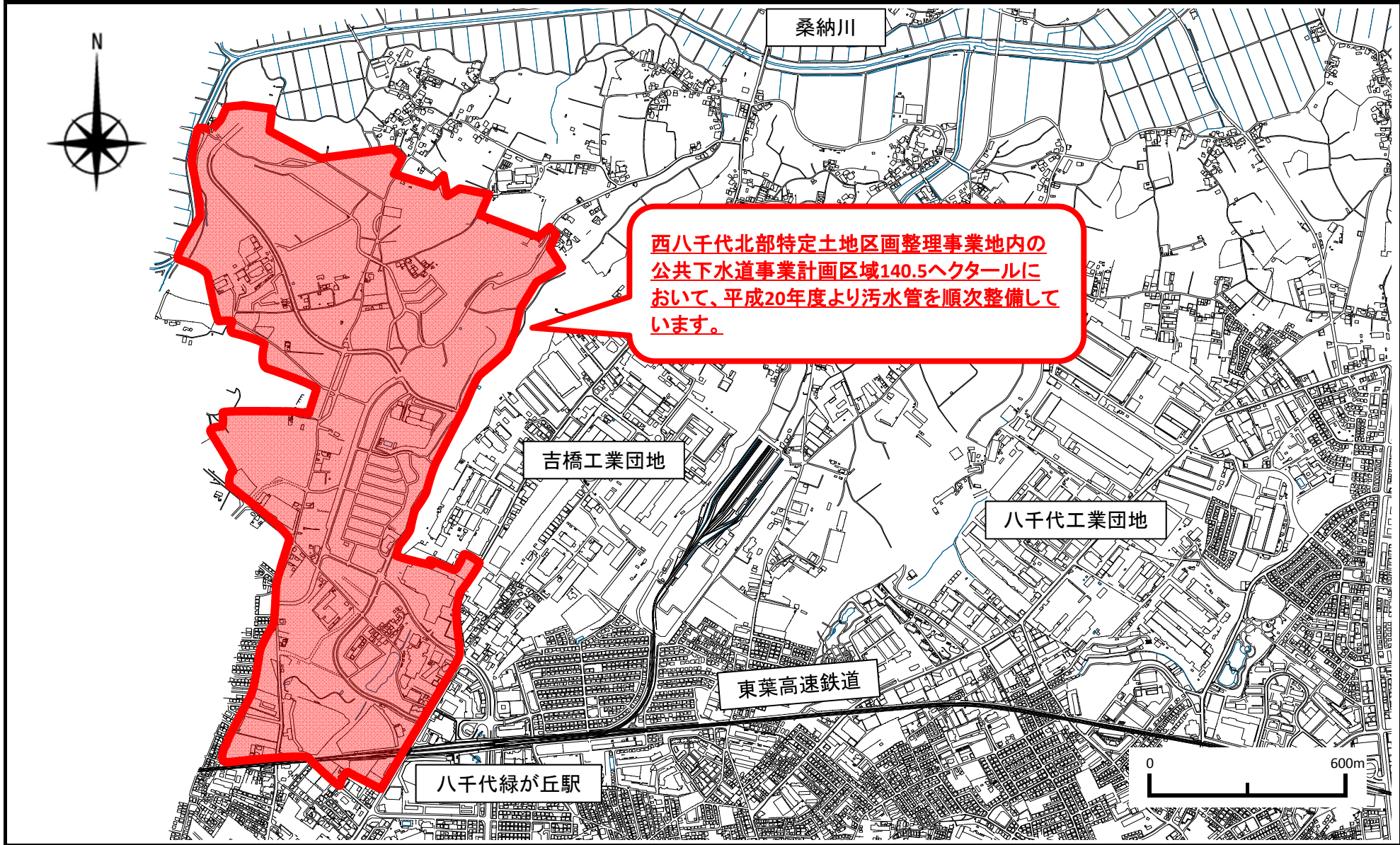
3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	6,951	5,390.71	159.000	126.520
H24	4,161	2,145.65	291.844	49.000
H25	3,975		156.156	
H26		454.00		142.560
H27				
合計	15,087	7,990.36	607.000	318.080
備考		対計画比 53%		対計画比 52%

※整備予定区域の一部を都市再生機構が整備したことなどにより、計画整備延長・事業費と比較して、実績整備延長・事業費が大きく減少しています。

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-5、A1-1-6 ^{かんきよ}管渠改築（長寿命化）の概要

1. 事業の目的

八千代市公共下水道事業は、浸水被害解消と生活環境整備を目的に、昭和 42 年 3 月に勝田台団地の整備に着手し、その後、昭和 47 年度から印旛沼流域関連公共下水道として整備を推進し、^{かんきよ}管渠整備延長は、汚水・雨水合わせて約 586km（平成 21 年度末時点）に達しました。

このように、年々^{かんきよ}管渠整備延長が増大している一方で、老朽化が懸念される^{かんきよ}管渠も増えており、本市の下水道事業は、新しく下水道管を整備する建設事業中心の体制から、既存の下水道管の維持管理に重点を置く体制への移行期を迎えつつあります。

下水道管の老朽化は、道路陥没など、市民生活に大きな支障を及ぼす可能性があり、対象となる延長も莫大であるため、本市の財政状況及び下水道整備計画を考慮した効率的な長寿命化計画が必要とされているところです。

このような本市の状況を踏まえ、公共下水道長寿命化計画を策定し、適切な対策工事を実施することを目的とします。

2. 事業の対象区域

- ①勝田台地区
- ②八千代台地区

3. 対象区域の選定理由

勝田台地区は、市内で最も早く下水道が整備された地区であり、供用開始から 40 年以上が経過しています。

また、八千代台地区は、勝田台地区の次に整備が行われ、供用開始から 35 年以上が経過しています。

以上のことに加えて、維持管理情報、社会的重要度（災害時緊急道路、避難路指定道路）等を総合的に判断し、市内全域から対策を優先すべき地区として、上記 2 地区を対象区域として選定しました。

4. 工事・委託概要

(1)公共下水道長寿命化計画策定業務委託【平成 23 年度事業】

①契約金額 7,003,500 円（うち交付対象事業費 6,979,000 円）

②業務概要 八千代市の下水道管渠^{かんきょ}は供用開始時より 40 年以上経過していることから、管路施設の老朽化が懸念されているため、対策優先地区内において早急に対策を実施すべき管路施設を対象に、調査結果資料（テレビカメラ調査結果、補修・改築状況等）から健全度^かを評価し、長寿命化計画を立案する。

(2)公共下水道長寿命化計画管渠^{かんきょ}実施設計業務委託【平成 25 年度事業】

①契約金額 5,985,000 円（うち交付対象事業費 5,984,000 円）

②業務概要 勝田台地区の管路施設テレビカメラ調査の結果に基づき、早急に対策を講じる必要のある管路施設について污水管渠長寿命化を図るための実施設計業務委託

③路線延長 こうせい 更生工法 L=146m

ふせつがえ 布設替工法 L=64m

総延長 L=210m

④既設管渠 かんきよ 鉄筋コンクリート管 φ 300mm・350mm

(3)公共下水道長寿命化計画管渠布設替工事 かんきよふせつがえ 【平成 26 年度事業】

①契約金額 6,987,600 円（うち交付対象事業費 6,986,000 円）

②工 法 かいさく 開削工法

③施工延長 L=64.1m

④既設管渠 かんきよ 鉄筋コンクリート管 φ 300mm

⑤新設管渠 かんきよ 硬質塩化ビニル管 φ 250mm

⑥取付管再接続 とりつけ 3 箇所

⑦舗装仮復旧 A=58 m²

⑧舗装本復旧 A=150 m²

(4)公共下水道長寿命化計画管渠更生工事 かんきよこうせい 【平成 27 年度事業】

①契 約 金 額 7,236,000 円

②施 工 方 法 こうせい 更生工法

③既設管渠及び かんきよ 鉄筋コンクリート管 φ 300mm L=109.90m

施工延長 鉄筋コンクリート管 φ 350mm L=36.12m

延長計 L=146.02m

5. 年次計画及び実施状況

(1)A1-1-5 (長寿命化計画策定・実施設計)

年度	事業内容 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	計画策定	計画策定	8.190	6.979
H24	実施設計		5.800	
H25		実施設計		5.984
H26				
H27				
合計			13.990	12.963
備考				対計画比 93%

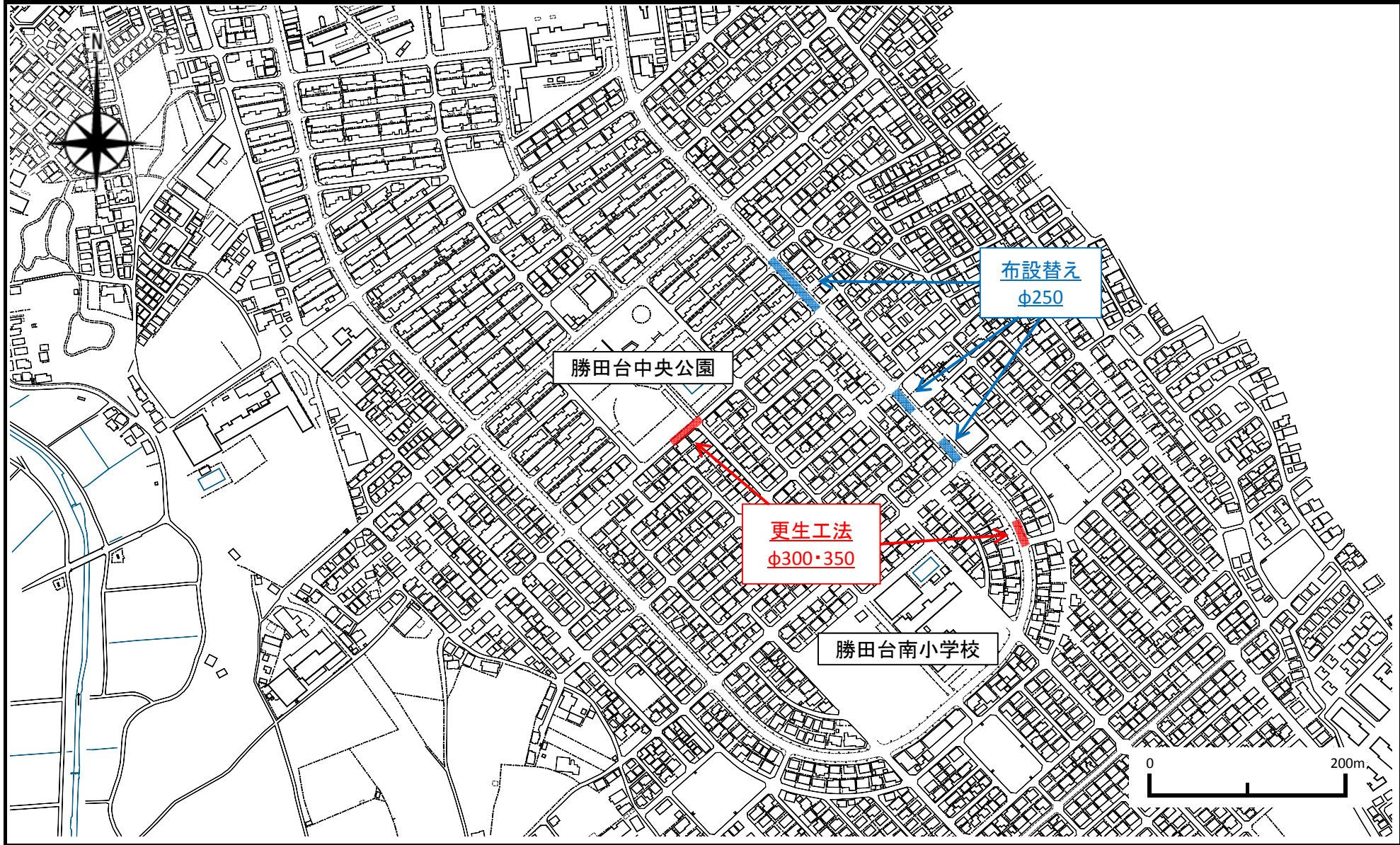
(2)A1-1-6 (改良工事)

年度	事業内容 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25	管渠改良		8.400	
H26	管渠改良	64.10	16.800	6.986
H27	管渠改良	146.02	16.800	7.236
合計		210.12	42.000	14.222
備考				対計画比 34%

※管路施設内カメラ調査の結果等の資料から、改良工事が必要な箇所を精査し策定した長寿命化計画に基づき改良工事を実施した結果、計画事業費と比較して実績事業費が大きく減少しています。

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-7 八千代1号幹線枝線整備の概要

・八千代台北地区雨水排水整備事業

1. 事業の目的

本事業は、八千代台北 11 丁目の住宅地内の低地で発生する浸水被害を解消・軽減するため、雨水管の整備を実施するものです。

当該区域においては、平成 18 年度にバイパス管の築造工事を実施済みであり、今回の計画では、下流の排水能力を増強することにより、その浸水対策効果をさらに高めることを目的とします。

2. 事業概要

浸水被害箇所の下流の排水能力を増強するため、「既設雨水管③」と一部並行する形で、増補管となる「新設雨水管②」を築造します（図 2 参照）。

3. 工事概要

(1)八千代台北地区雨水排水整備工事【平成 24 年度事業】

①契約金額 268,800,000 円

②施工方法 泥濃式推進併用シールド工法

③掘削延長 全 体 L=241.56m

推進区間 L=23.52m

シールド区間 L=218.04m

- ④^{かんきよ}管渠延長 L=246.28m
- ⑤流入管延長 L=5.33m
- ⑥管種・管径 ^{すいしん}推進用鉄筋コンクリート管（呼び径 1100mm）
 シールド用合成セグメント
 （呼び径 1100mm、外径 1260mm）
- ⑦^{じんこう}人孔設置 組立落差マンホール 1箇所
 組立3号マンホール 1箇所
- ⑧^{たてこう}立坑設置 ライナープレート^{たてこう}立坑（^{たてこう}発進立坑、φ7000mm、H=11.0m）
^{じんこうたてこう}既設人孔立坑（^{たてこう}到達立坑）
 ライナープレート^{どどめ}土留（φ2600mm、H=5.50m）
- ⑨舗装仮復旧 A=25.8 m²

4. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24	255	251.61	118.507	268.800
H25				
H26				
H27				
合計	255	251.61	118.507	268.800
備考		対計画比 99%		対計画比 227%

図1 事業実施前

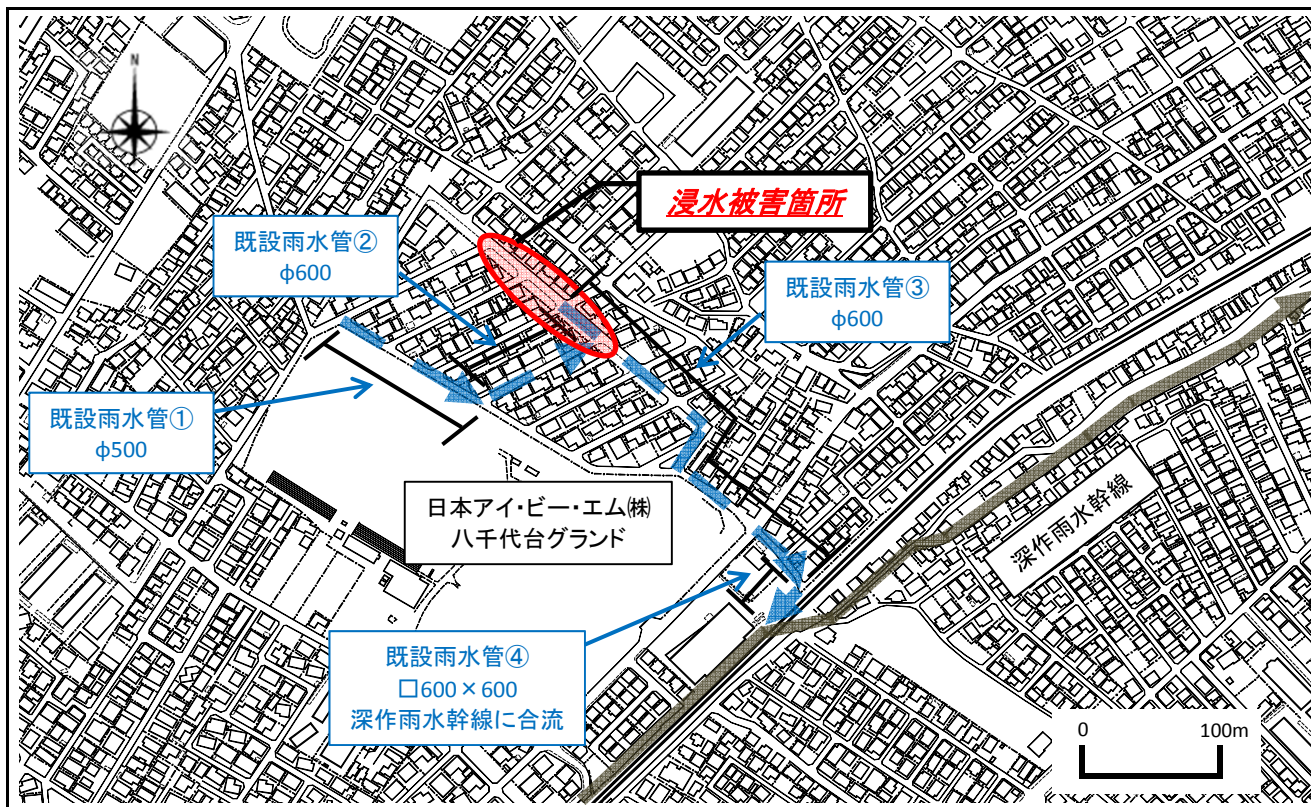
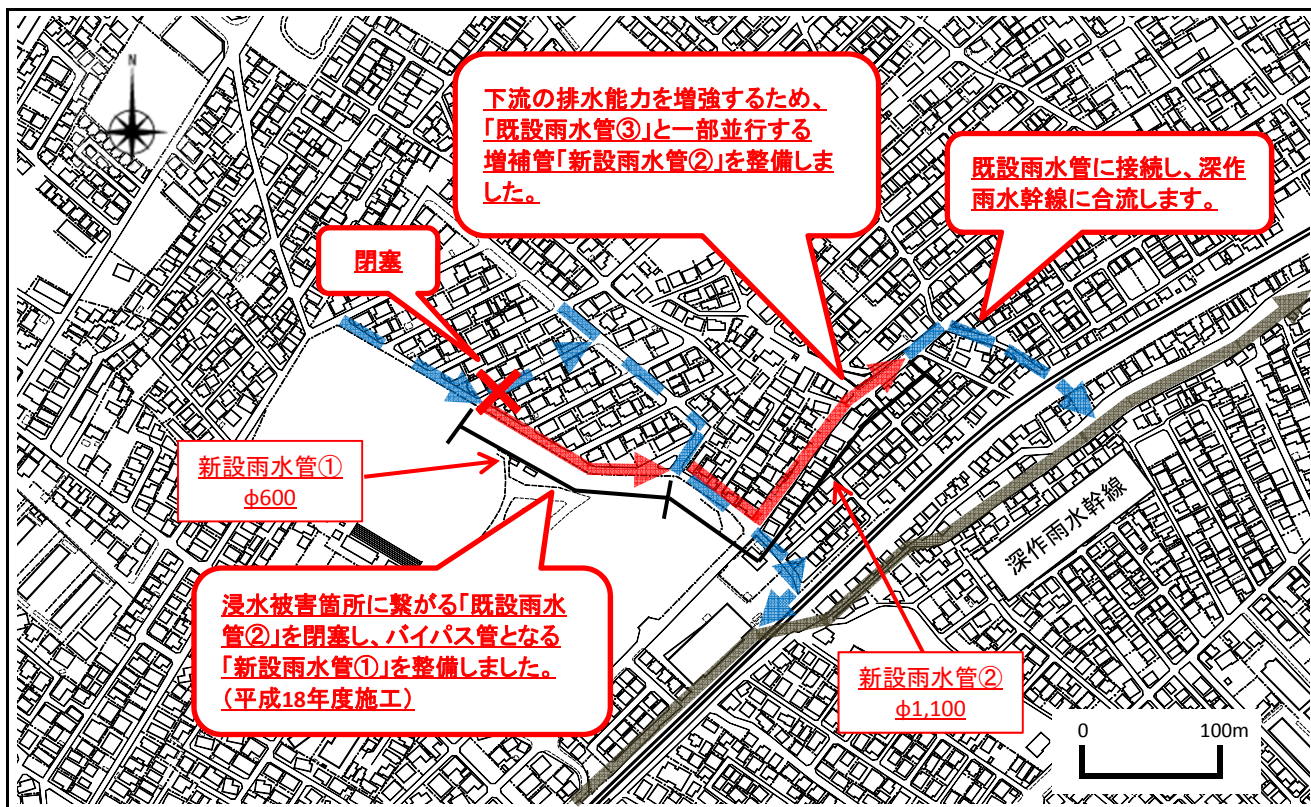


図2 事業実施後



A1-1-7 八千代1号幹線枝線整備の概要

・大和田新田地区（県道幕張・八千代線）雨水排水整備事業

1. 事業の目的

本事業は、大和田新田地区で発生する道路冠水を解消するため、雨水管の整備を実施するものです。

2. 工事概要

(1)大和田新田地区雨水排水整備工事【平成25年度事業】

①契約金額 74,960,400円（うち交付対象事業費74,550,000円）

②施工方法 かいさく開削工法

③延長 L=315.5m

④管種 鉄筋コンクリート管B形1種

⑤管径 呼び径700mm L=87.0m

呼び径800mm L=36.8m

呼び径900mm L=59.1m

呼び径1000mm L=132.6m

⑥人孔設置 じんこう組立2号マンホール 4箇所

組立3号マンホール 2箇所

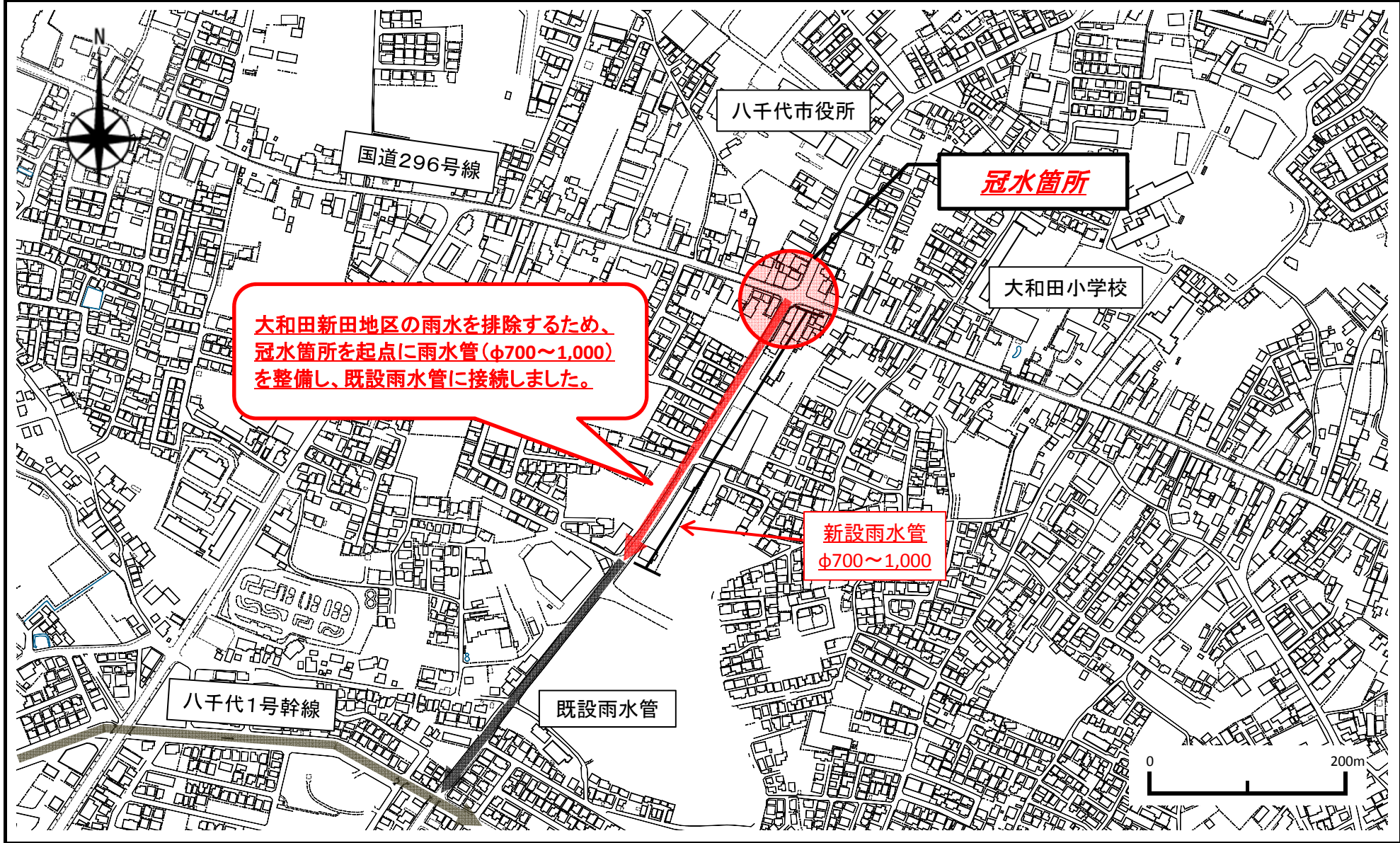
⑦舗装仮復旧 A=909 m²

4. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25	307	315.50	61.500	74.550
H26				
H27				
合計	307	315.50	61.500	74.550
備考		対計画比 103%、 雨水整備済面積 5.50ha		対計画比 121%

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-7 八千代1号幹線^{えだせん}枝線整備の概要

・大和田新田地区（八千代市消防本部付近）雨水排水整備事業

1. 事業の目的

本事業は、大和田新田地区の雨水を排除するため、雨水管の整備を実施するものです。

2. 工事概要

平成25年に襲来した台風26号による八千代1号幹線沿線の浸水被害に対して、抜本的な浸水対策を先行して実施するため、八千代1号幹線の上流域で予定していた本事業の実施を先送りしました。

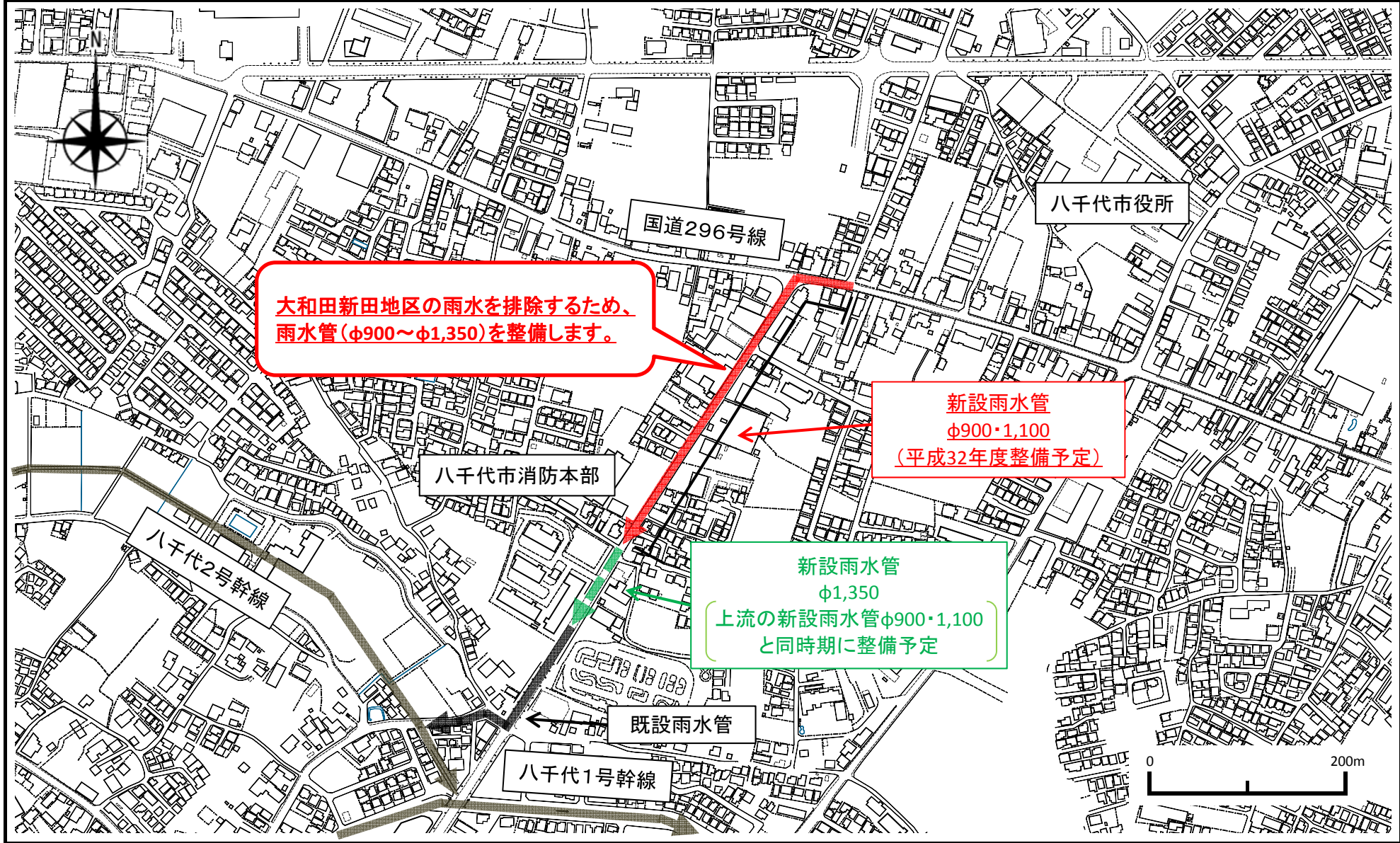
本事業につきましては、平成32年度の実施を目指し、八千代1号幹線沿線の浸水被害への対策工事との調整を図ってまいります。

3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25				
H26	389	未実施	209.550	未実施
H27				
合計	389	0	209.550	0
備考				

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-7 八千代1号幹線^{えだせん}枝線整備の概要

・大和田地区（県道大和田停車場線）雨水排水整備事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、県道大和田停車場線沿線における浸水被害を軽減・解消するため、雨水管の整備を実施するものです。

2. 工事概要

平成25年に襲来した台風26号による八千代1号幹線沿線の浸水被害に対して、抜本的な浸水対策を先行して実施するため、八千代1号幹線の上流域で予定していた本事業の実施を先送りしました。

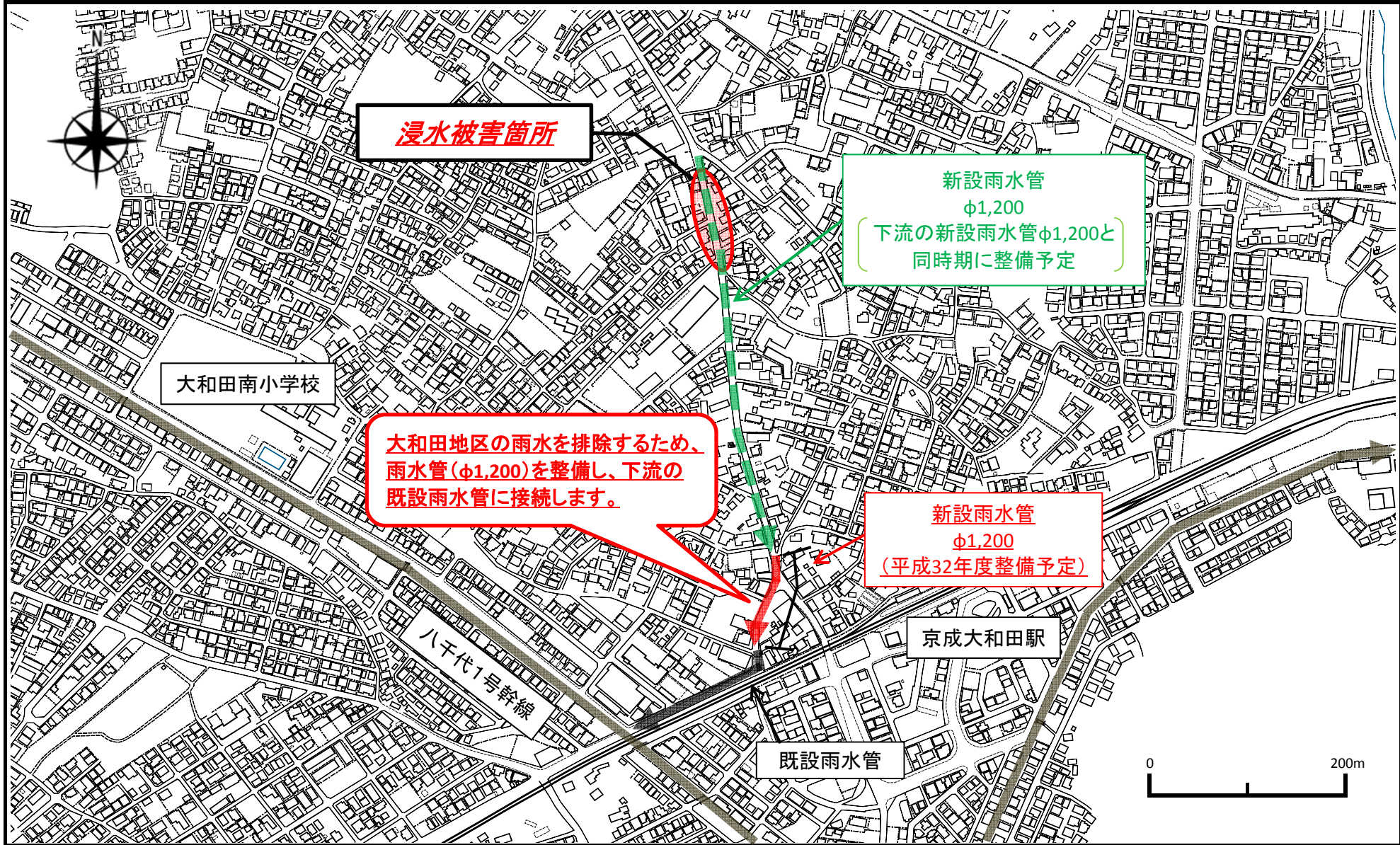
本事業につきましては、平成32年度の実施を目指し、八千代1号幹線沿線の浸水被害への対策工事との調整を図ってまいります。

3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25				
H26	108	未実施	125.400	未実施
H27				
合計	108	0	125.400	0
備考				

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-7 八千代1号幹線^{えだせん}枝線整備の概要

・大和田地区（大和田南小学校付近）雨水排水整備事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、大和田地区の雨水を排除するため、雨水管の整備を実施するものです。

2. 工事概要

平成25年に襲来した台風26号による八千代1号幹線沿線の浸水被害に対して、抜本的な浸水対策を先行して実施するため、八千代1号幹線の上流域で予定していた本事業の実施を先送りしました。

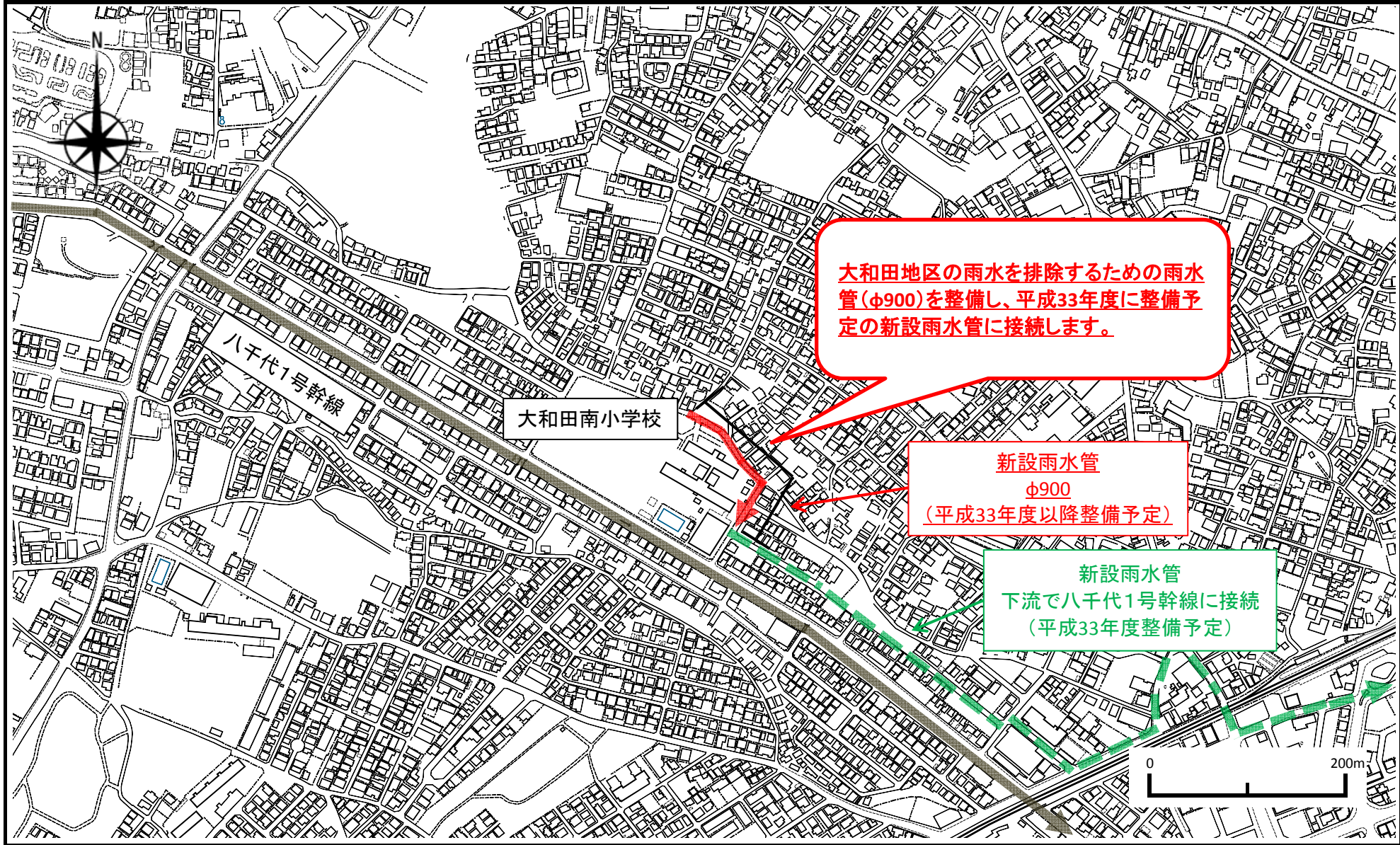
本事業につきましては、平成33年度以降の実施を目指し、八千代1号幹線沿線の浸水被害への対策工事との調整を図ってまいります。

3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23				
H24				
H25				
H26				
H27	206	未実施	41.000	未実施
合計	206	0	41.000	0
備考				

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-8 黒沢 1 号幹線枝線^{えだせん}整備（浸水対策）の概要

1. 事業の目的

黒沢 1 号幹線枝線^{えだせん}周辺は、都市化の進展による雨水流出量の増加等により、道路冠水等の被害が報告されていることから、雨水管渠^{かんきょ}整備工事の実施による道路冠水等の解消を目的とします。

本事業の対象区域においては、平成 20 年度の実施設計業務委託の結果に基づいて平成 21 年度より順次下流から雨水管を整備しており、平成 23 年度に至っています。

2. 工事概要

(1)村上地区雨水排水整備工事【平成 23 年度事業】

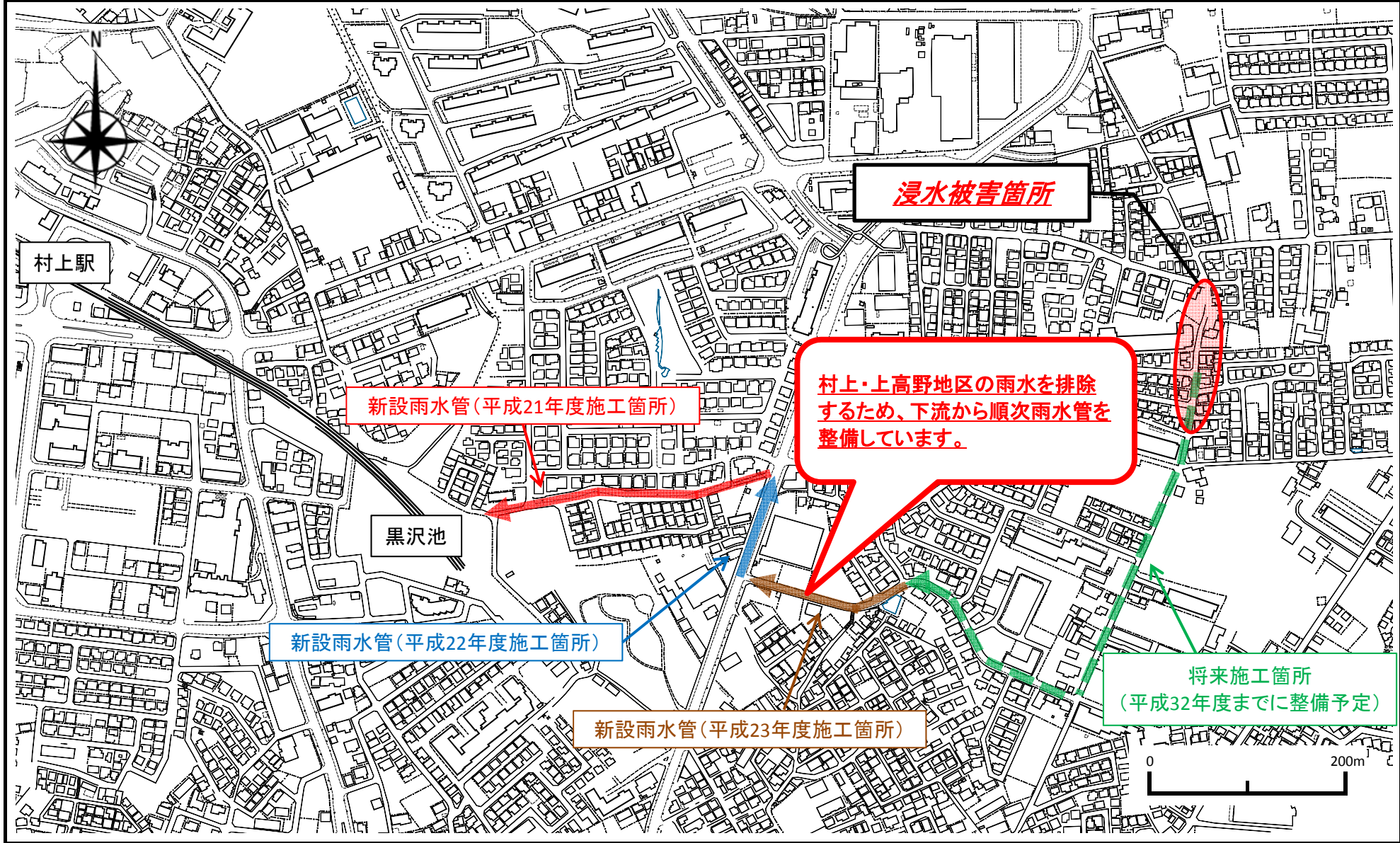
- | | |
|---------|--|
| ①契約金額 | 102,459,000 円 |
| ②工法 | ^{でいのうすいしん} 泥濃推進工法 |
| ③管種・呼び径 | ^{すいしん} 推進用鉄筋コンクリート管 径φ1,200mm |
| ④施工延長 | L= 176.37m |
| ⑤マンホール | 組立 5 号マンホール 2 箇所
円形 4 号マンホール 1 箇所 |

4. 年次計画と実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	177	176.37	102.900	102.459
H24				
H25				
H26				
H27				
合計	177	176.37	102.900	102.459
備考		対計画比 99%		対計画比 99%

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-9 須久茂^{すくも}幹線^{えだせん}枝線整備（浸水対策）の概要

1. 事業の目的

本事業は、大和田新田 134 番地付近の床下浸水や国道 296 号線の道路冠水を解消するため、浸水対策として雨水^{かんきょ}管渠を整備するものです。

2. 工事概要

(1)大和田新田地区雨水排水整備工事【平成 23 年度事業】

①契約金額 113,484,000 円

②施工方法 ^{でいのうすいしん}泥濃推進工法 L=560.82m

鉄筋コンクリート管 φ 800mm L=176.51m

鉄筋コンクリート管 φ 1000mm L=384.31m

③人孔^{じんこう}設置 2号組立マンホール 1箇所

3号組立マンホール 1箇所

4号組立マンホール 1箇所

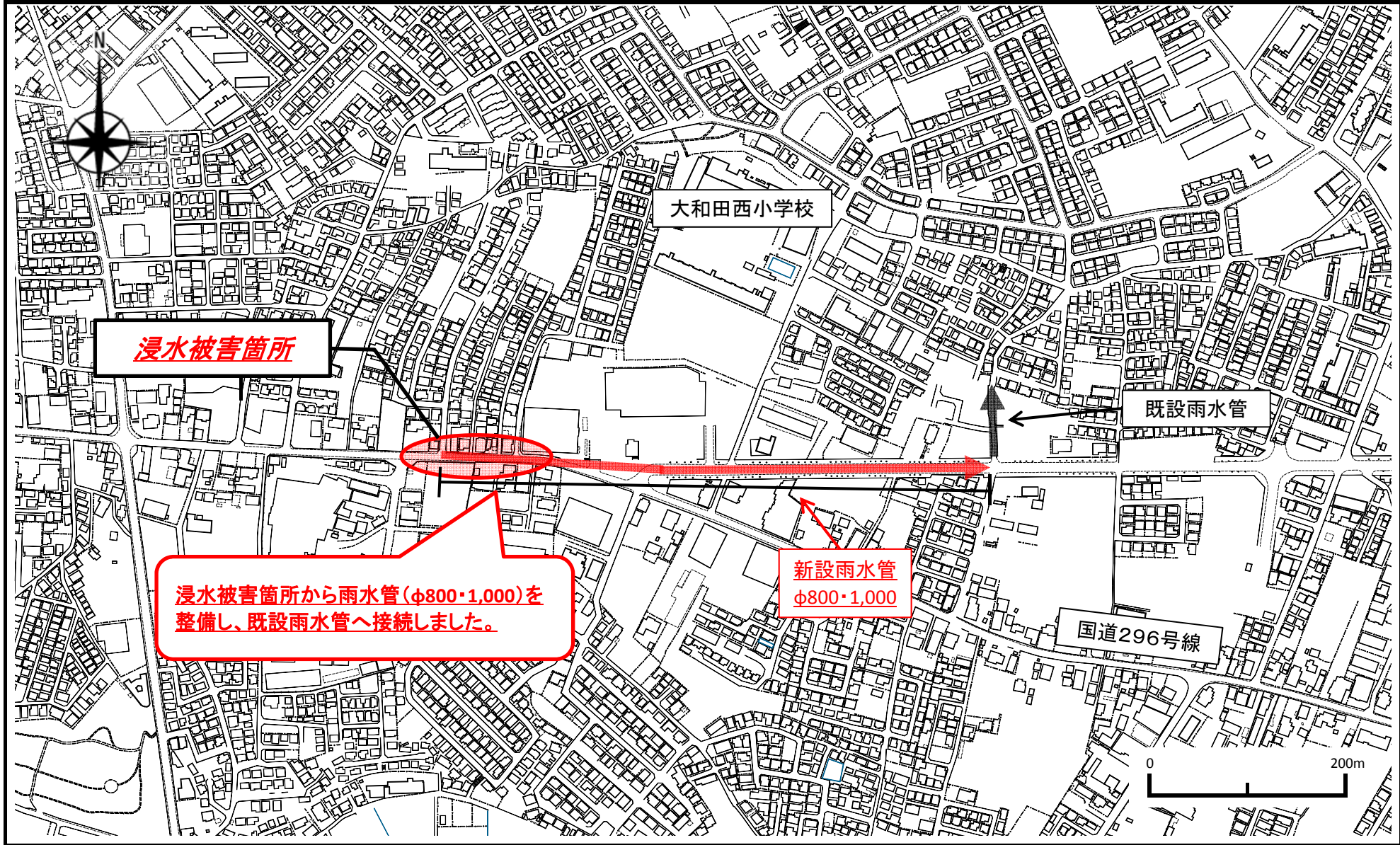
④舗装仮復旧 A=63.0 m²

3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	560	560.82	116.130	113.484
H24				
H25				
H26				
H27				
合計	560	560.82	116.130	113.484
備考		対計画比 100%、 雨水整備済面積 7.54ha		対計画比 98%

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-10 石神 1・2・3号雨水幹線^{えだせん}枝線整備（浸水対策）の概要

1. 事業実施に至った経緯

独立行政法人 都市再生機構による「西八千代北部特定土地区画整理事業」の実施を受け、平成 17 年度に公共下水道事業計画区域（汚水・雨水）140.5 ヘクタールの拡大を行いました。

その後、平成 20 年度より、区画整理事業の実施主体である独立行政法人 都市再生機構に委託し、当該区域の下水道整備を実施することとなりました。

2. 工事概要

(1)西八千代北部地区NE工区^{ほか}外排水工事（雨水整備事業分）【平成 23 年度事業】

契約金額 110,320,000 円（雨水整備事業分）

管延長	^{かいさく} 開削HP	φ 400mm	L=42.33m
	^{かいさく} 開削HP	φ 450mm	L=92.69m
	^{かいさく} 開削HP	φ 600mm	L=92.37m
	^{かいさく} 開削HP	φ 700mm	L=109.09m
	^{かいさく} 開削HP	φ 800mm	L=194.17m
	^{かいさく} 開削HP	φ 900mm	L=127.83m
	^{かいさく} 開削HP	φ 1,000mm	L=46.79m
	^{かいさく} 開削HP	φ 1,100mm	L=32.28m

かいさく
開削HP ϕ 1,200mm L=33.44m

かいさく
開削HP ϕ 1,350mm L=93.69m

かいさく
開削HP ϕ 1,500mm L=71.57m

かいさく
開削 \square 1,000 \times 1,500 L=35.24m

じん	こう	組立 1 号	5 基
		組立 2 号	9 基
		組立 3 号	4 基
		組立 4 号	5 基
		特殊角型	3 基

(2)西八千代北部地区NW工区外排水（その2）工事（雨水整備事業分）^{ほか}

【平成 24 年度事業】

契約金額 13,000,000 円

管 延 長 かいさく
開削HP ϕ 700mm L=69.04m

すいしん
推進HP ϕ 400mm L=44.20m

じん	こう	組立 2 号	2 基
----	----	--------	-----

(3)西八千代北部地区石神 1 - 1 号幹線外整備工事^{ほか} **【平成 24 年度事業】**

契約金額 44,000,000 円

管 延 長 かいさく
開削プレキャスト BOX 2,500 \times 2,500 L=49.82m

はけぐち
吐口 2,500 \times 2,500 L=22.03m

(4)西八千代北部地区西部線南側外排水工事【平成 25 年度事業】

契約金額 293,130,000 円

管延長 すいしん推進HP ϕ 2,000mm L=399.16m

じん人 こう孔 特殊角形 1 基

(5)西八千代北部地区船橋印西線排水工事【平成 26 年度事業】

契約金額 27,800,000 円

管延長 かいさく開削HP ϕ 700mm L=101.56m

かいさく開削HP ϕ 800mm L=8.43m

すいしん推進HP ϕ 800mm L=150.43m

じん人 こう孔 組立 2 号 2 基

組立 3 号 3 基

(6)西八千代北部地区 6 - 9 2 号線外排水工事【平成 26 年度事業】

契約金額 166,640,000 円

管延長 すいしん推進HP ϕ 1,100mm L=127.64m

じん人 こう孔 特殊^{じんこう}人孔 2 基

(7)西八千代北部地区S工区排水工事【平成27年度事業】

契約金額 128,415,000 円（うち交付対象事業費 58,000,000 円）

管延長 ^{かいさく}開削HP φ1,100mm L=40.50m

^{すいしん}推進HP φ1,100mm L=261.82m

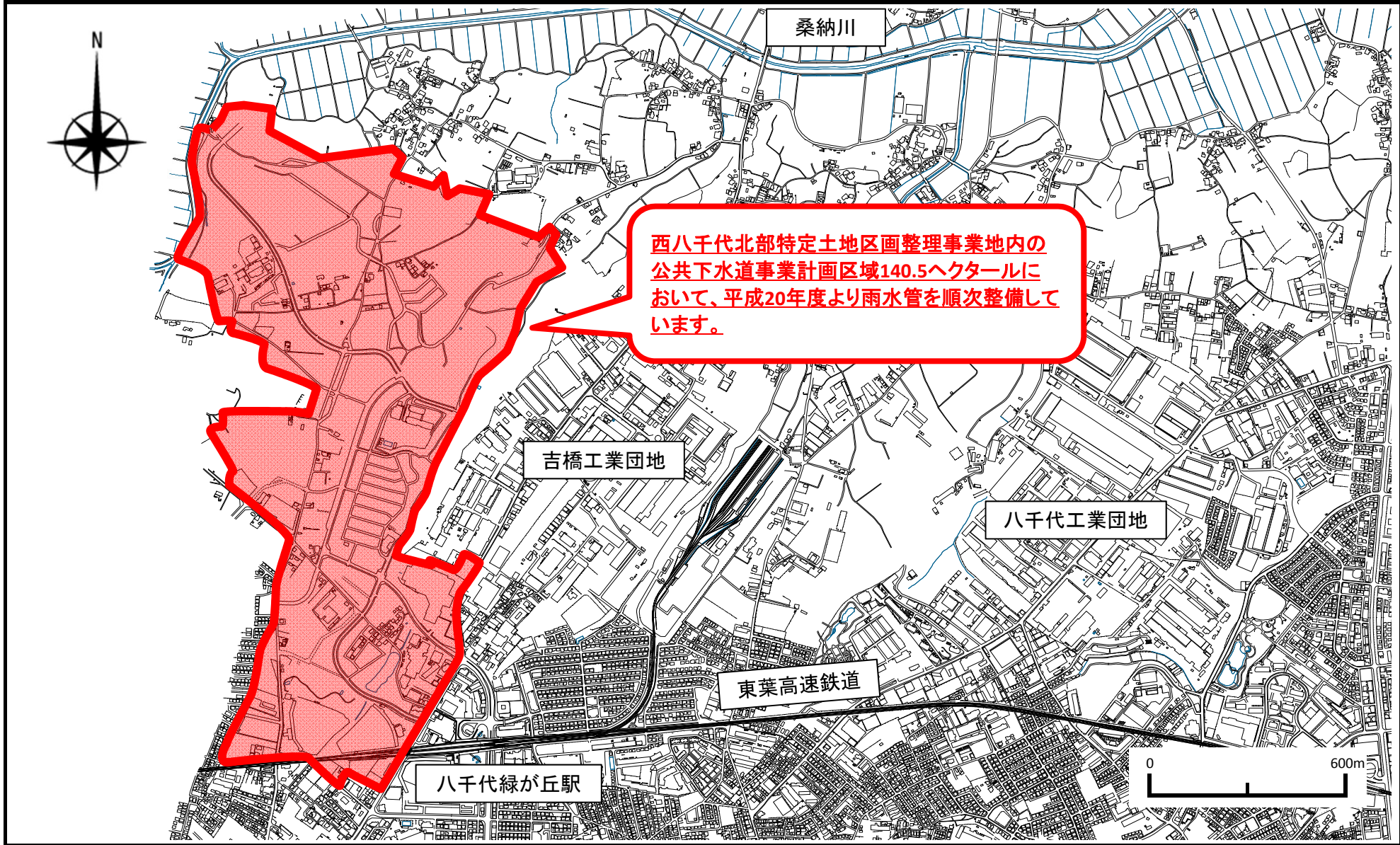
3. 年次計画及び実施状況

年度	整備延長 (m)		交付対象事業費 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績
H23	1,553	971.49	226.000	110.320
H24	1,370	185.09	676.156	57.000
H25	980	399.16	169.844	293.130
H26		388.06		194.440
H27		302.32		58.000
合計	3,903	2,246.12	1,072.000	712.890
備考		対計画比 58%、 雨水整備済面積 114.55ha		対計画比 67%

※整備予定区域の一部を都市再生機構が整備したことなどにより、計画整備延長・事業費と比較して、実績整備延長・事業費が大きく減少しています。

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



A1-1-11 村上第2汚水中継ポンプ場改築（改築更新）の概要

1. 事業実施に至った経緯

村上第2汚水中継ポンプ場は、昭和51年4月の供用開始以降、約35年が経過しており、施設内の機械・電気設備等には多くの劣化が見受けられます。

また、新潟県中越地震など、近年頻発している被害地震においての下水道施設の破損は、住民生活に大きな支障をきたしてきたことから、耐震化対策の実施が下水道施設の緊急的な課題となっています。

このようなことを踏まえ、村上第2汚水中継ポンプ場の改築診断及び耐震補強の検討を行い、改築更新工事を実施しました。

2. 工事・委託概要

(1)村上第2汚水中継ポンプ場改築・更新工事施工^{かんり}監理業務委託

【平成23・24年度継続事業】

①契約金額 28,087,500円（うち交付対象事業費28,087,000円）

平成23年度分 11,487,000円

平成24年度分 16,600,500円

（うち交付対象事業費16,600,000円）

②業務概要 村上第2汚水中継ポンプ場改築・更新工事の施工^{かんり}監理業務

・総括^{かんり}監理

・土木・建築・機械・電気工事の施工^{かんり}監理

(2)村上第2汚水中継ポンプ場耐震補強・建築設備工事

【平成23・24年度継続事業】

①契約金額 175,516,950円

平成23年度分 85,575,000円

平成24年度分 89,941,950円

②工事概要 1.耐震補強（主要工種）

・^{ていぶましう}底部増打ち補強工（沈砂池、ポンプ井）・^{ましう}壁増打ち補強工（地下2階、地下1階）

・炭素繊維補強工（柱、梁）

・鉄筋補強工（底板、壁、梁）

・^{ぼうしょく}防食塗装工（壁、天井、梁、ゲート）

2.建築設備

・内装改築、建築機械設備、建築電気設備

(3)村上第2汚水中継ポンプ場機械設備更新工事 【平成23・24年度継続事業】

①契約金額 257,345,550円

平成23年度分 77,973,000円

平成24年度分 179,372,550円

②工事概要 主要機器の更新

・汚水ポンプ 2台

・活性炭吸着塔 1台

・^きし渣脱臭機 1台・^{よう}揚^き砂機 1台

- ・ポンプ井攪拌機^{せいかくはん} 1台

(4)村上第2汚水中継ポンプ場電気設備更新工事【平成23・24年度継続事業】

①契約金額 223,492,500円

平成23年度分 67,599,000円

平成24年度分 155,893,500円

②工事概要 主要設備の更新

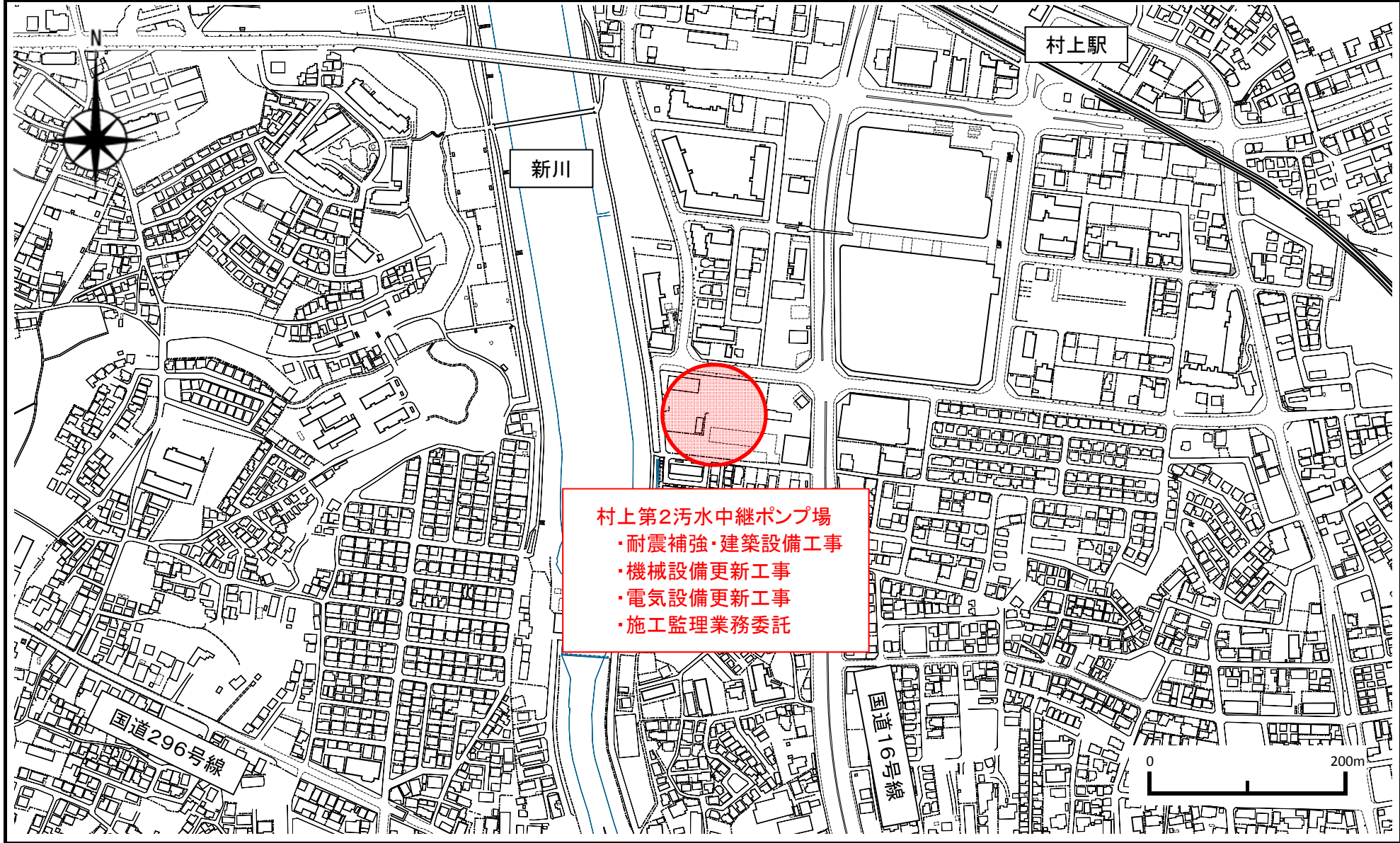
- ・受変電設備
- ・自家発電設備
- ・運転操作設備
- ・計装設備^{けいそう}
- ・監視制御設備

3. 年次計画と実施状況

年度	交付対象事業費（百万円）	
	計画	実績
H23	280.791	242.634
H24	569.793	441.808
H25		
H26		
H27		
合計	850.584	684.442
備考		対計画比 80%

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称	1 八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	八千代市



用語集

【あ - お】

・^{あつそう}圧送管

下水をポンプによって^{あつそう}圧送する下水道管のこと。

・^{えだせん}枝線

各家庭の^{とりつけ}取付管からの下水を運び、幹線に集めるための管。

【か - こ】

・^{かいさく}開削工法

工事箇所の地面を必要な深さまで掘削し、下水道管を^{ふせつ}布設して埋め戻す工法。

・^{かふくじゆ}仮復旧

道路を掘削して下水道管等を^{ふせつ}布設した後、土砂を埋め戻して簡易的な舗装をかけること。

仮復旧後は自動車の往来等により自然に土が締め固められるため、十分な期間を置いてから本復旧を行う。

・^{かんきよ}管渠

^{かいきよ}開渠（地上部に造られた水路のことで、ふた等で覆われていないもの）及び^{あん}暗

^{きよ}渠（地中に埋設された水路）の総称。

・^{かんせん}幹線

各^{えだせん}枝線からの下水を取り込む大きな下水道管。

・管路施設

下水を集めて、終末処理場や河川等の放流先へ運ぶまでの施設・設備の総称。

管渠^{かんきよ}、人孔、調整池、ポンプ場等から構成される。

・下水

汚水（トイレから出るし尿^{しりょう}や、台所、お風呂、洗面所等から排出される雑排^{ざつぱい}

水^{すい}）及び雨水（降雨による水）の総称。

・下水道

下水を排除するために設けられる排水管、ポンプ場、下水処理場等の集合体。

・下水道管

下水を終末処理場や河川等の放流先へ運ぶための管。

八千代市の場合、汚水と雨水は別々の管で流れており、この方式を分流式下水道という。

塩化ビニル製（VU・VP等）、鉄筋コンクリート製（HP）等、様々な材質のものがある。

・下水道処理人口普及率

全人口のうち、どのくらいの人が下水道を使えるようになったかを示す指標。

・公共下水道

主に市街地における下水を排除し、または処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するものまたは流域下水道に接続するもの

であり、かつ、排水施設の相当部分が暗渠^{あんきよ}であるもの。

設置及び管理は、原則として市町村が行う。

・更生工法

既存の下水道管の内面を樹脂等で被覆し補強することにより、所定の耐用年数を新たに確保する工法。

・交付対象事業費

交付金の対象となる事業費のこと。

この事業費に、「社会資本整備総合交付金交付要綱」で定められた国費率を乗じた額が、各地方公共団体に交付金として配分される。

国費率は事業によって異なり、八千代市が下水道整備のために交付を受けている事業の場合、国費率は 1/2。

例：交付対象事業費 100 万円の工事を実施するケース

交付金 = 100 万円 × 1/2 = 50 万円

事業費の残額 50 万円は市が負担する。

【さ - そ】

・サービス管

地下深くに下水道管が埋設されている場合、各家庭への取出し工事が容易に行えないため、並行する形で浅い箇所にも下水道管を布設し、取出し工事をしやすくするための管をサービス管という。

・シールド工法

シールドマシンと呼ばれる掘削機を使用し、下水道管を築造する工法。

シールドマシンの前面には超合金で作られた歯が付いており、その歯を回転させながら地中を掘り進む。シールドマシンは土を削った分だけ前進し、掘削した部分が崩れないように、マシン内部で鉄筋コンクリート製や鋼鉄製のブロック（セグメントと呼ぶ。）を組立てて下水道管を築造していく。

・事業計画

公共下水道の管理者は、公共下水道を設置する時は、あらかじめ事業計画を策定しなければならない。

事業計画は、下水道整備の優先度が高い区域において、概ね 5～7 年程度で整備可能な内容について策定することが望ましいとされている。

・自然流下管

下り勾配こうばいを付けて埋設まいせつされており、下水が自然に流れていく下水道管のこと。

・実施設計

工事を発注するにあたり、施工するために必要な工法、設計図面、数量等を検討する作業のこと。

・社会資本整備総合交付金

国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成 22 年度に創設された。

・社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施しようとする地方公共団体が、計画の名称、目標、期間等を記載した計画のこと。

・処理分区

八千代市の公共下水道（汚水）は、八千代市を含めた 13 市町の汚水を広域的に集める「印旛沼流域下水道」に接続しており、千葉県が管理する花見川終末処理場及び花見川第二終末処理場において浄化されている。

各市町を結ぶ管渠かんきよは、千葉県が管理する「流域幹線」と呼ばれ、流域幹線には「接続点」と呼ばれる各市町の管渠かんきよとの接続箇所が設けられている。

各市町は接続点毎に汚水を集約する区域を設定しており、この区域を処理分区と呼ぶ。

・じんこう人孔

マンホールのこと。下水道管の点検・修理・清掃等のために設置されている。

・すいしん推進工法

下水道管を布設しようとする箇所の両端に発進立坑たてこうと到達立坑たてこうと呼ばれる穴を掘り、発進立坑たてこうから到達立坑たてこうに向かって油圧ジャッキにより掘進機を押し出し、掘進機の後続に既成の管を順次継ぎ足して管渠を構築する工法。

・ストックマネジメント計画

持続可能な下水道事業の実現を目的に、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握・評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、施設を計画的かつ効率的に管理するための計画。

・ぞうほ増補管

既設排水管の能力が不足している区間で、同一道路内に管渠かんきょを布設し、既設排水管から分水ぶんすいすることで能力を補う管。

【た - と】

・たてこう立坑

すいしん推進工法やシールド工法により下水道管を布設する際、掘進機やシールドマシン等を搬出入するため、垂直に掘られた穴。

・長寿命化計画

事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る目的で、施設の健全度に関する点検・調査結果に基づき改築を実施するための計画。

・都市浸水対策達成率

公共下水道による浸水対策の整備対象区域の面積のうち、概ね5年に1度の大雨に対して、既に整備が完了している区域の面積の割合を示す。

・とりつけ 取付管

各家庭からの下水を、市が管理する下水道管に取り込むための管のこと。

【は - ほ】

・排水区

各公共下水道管理者（市町村）が設定する、雨水を集約する区域。

主に地形に応じて定められる。

・バイパス管

既設排水管の能力不足を補うため、別のルートに新しい下水道管を^{ふせつ}布設することで、浸水被害の解消等を目的とする施設。

・被害地震

被害の種類や程度に係わらず、何らかの被害を及ぼした地震のこと。

・ふせつが 布設替え

既存の下水道管を新しい下水道管と取替えることで、所定の耐用年数を新たに確保すること。

・ポンプ場

地形等の問題により、自然^{りゅうか}流下では排除できない下水をポンプにより^{あつそう}圧送する施設のこと。

・本復旧

仮復旧から十分な期間を置き、舗装をきれいにかき直すこと。